

〈保証内容のご確認とお願い〉

- この取扱説明書(本書とする)は、記載内容(無料修理規定)に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。
- 無料修理を受けられる場合は、本書と「ご購入明細書」の両方が必要になります。お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認いただき、本書とともに大切に保管してください。
- ※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書(製品明細の記載があるもの)」のことです。

〈保証期間について〉

- 保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間(週5日として1日8時間)の労働時間を想定しています。

- 電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、コンセント、モーターなど。
----	------	--------------------------------

お客様の個人情報の利用について

ご購入明細書に記入されている、お客様の個人情報は保証期間内の修理・交換活動にのみ使用し、それ以外の目的に利用したり、第三者に提供することは一切ございません。

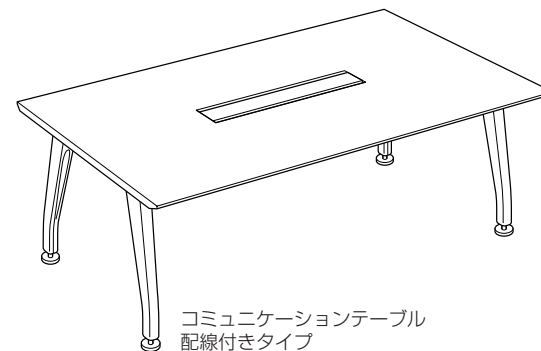
〈無料修理規定〉

- 保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室へご相談ください。
- 保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。
- 保証期間内でも以下の場合は有料となりますのでご了承願います。
 - (イ) 本書、およびご購入明細書のご提示が無い場合
 - (ロ) ご購入明細書にお買い上げ年月日お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合
 - (ハ) 消耗部品(弊社指定部品)の交換
 - (ニ) 第三者から転売・譲渡を受けた場合
 - (ホ) 火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損
 - (ヘ) 故意・過失に関係なく、使用上の誤りによる故障または破損
 - (ト) 加工・改造、不当な修理による故障または破損
 - (チ) 屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損
 - (リ) 使用上の消耗により発生する異音などの現象変質またはさびかびの発生
 - (ヌ) 外観の傷へこみ・変形や再現のできない不良
 - (ル) 一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象(におい、音鳴りや振動など)
- ご購入の場合は、事前にお買い上げの販売店、またはお客様相談室までご相談ください。
- 本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書およびご購入明細書は、再発行致しませんので大切に保管してください。

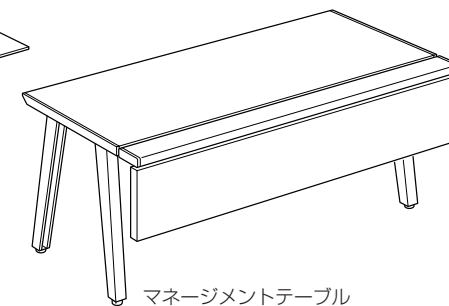
SENTIR〈センティア〉



ワークテーブル 両面タイプ
スイングオープンタイプ



コミュニケーションテーブル
配線付きタイプ



マネージメントテーブル

- ワークテーブル
 - 片面タイプ
 - スイングオープンタイプ
 - コンセント付きタイプ
- 両面タイプ
 - スイングオープンタイプ
 - コンセント付きタイプ
- コミュニケーションテーブル
 - 配線付きタイプ
 - 配線なしタイプ
- マネージメントテーブル
 - 片面タイプ
 - スイングオープンタイプ

もくじ

1. 安全上のご注意	1
2. 未永くご使用いただくためのご注意	5
3. 使いかた	6
4. お手入れのしかた	13
5. 部品の交換について	14
6. 仕様	14
7. 組み立てかた	17

このたびはコクヨ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

コクヨ株式会社

本社オフィス 〒537-8686 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
ホームページURL <https://www.kokuyo.co.jp/>

お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル(全国共通)

お客様相談室 ☎ 0120-201-594

1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意 取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠警告

●コンセントがある場合、コンセントに接続する機器は、定格消費電力合計が1500W以内で使用してください。

これを超えると、異常発熱して火災の原因になるおそれがあります。

●お客様で、解体や移設・レイアウト変更をしないでください。

組立施工が不十分ですと、破損や転倒によりけがをする原因になります。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

※基本テーブルのみ移設は可能です。

●転倒防止金具を取り付けている製品は、転倒防止金具を絶対に外さないでください。転倒によって、けがをする原因になります。

●収納家具で壁面に設置する製品は、地震対策のために、壁固定金具(オプション)で本体を壁固定されることをお勧めします。

地震などの揺れによる転倒のおそれがあります。

●収納家具の本体を積み合わせて使用する場合は、上下連結されていることを確認してください。連結されていない場合は使用せず、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●収納家具のラテラルキャビネットおよび奥行きが浅い両開き扉は単体では使用せず、必ず2台以上で連結してください。単体でのご使用となる場合は、転倒防止対策を行ってください。

転倒によりけがをするおそれがあります。転倒防止対策については、お買い上げの販売店にご相談ください。

●棚板、引き出しに収納するときは、バランスよく収納してください。

上段や手前に偏った収納をすると、転倒によるけがのおそれがあります。

●引き出しがある製品では、引き出しは、一段ずつ引き出してください。

同時に二段以上引き出すと、転倒のおそれがあります。

●製品を廃棄するときは、焼却しないでください。

有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。

製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

●コンセント、電源プラグ、コードがある場合は、以下の内容を守らないと、感電やショート・火災の原因になります。

●温度・湿度の高い場所では使用しないでください。

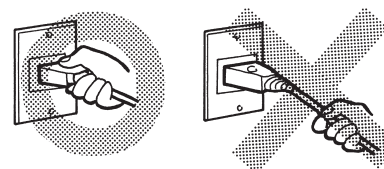
●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。

●電源プラグは、刃の根元までしっかり差し込んでください。

●電源プラグに、ホコリが付いた状態で使用しないでください。

●コンセントの差し込み口に、異物やゴミが入らないようにしてください。

●電源プラグは、必ずプラグを持ってゆっくりと水平方向に抜き差ししてください。



●異物・ホコリの侵入防止シャッター付きコンセントです。プラグ2ピンが同時に入るよう、まっすぐ差し込んでください。

安全構造上、片側から差し込まれるとシャッターがロックするため、プラグが引っかかり、入りづらいことがあります。

●暖房器具など火気を近づけたり、熱風を当てないでください。

●コンセントや配線に水がかからないように注意してください。

●コンセントや配線に洗剤や殺虫剤をかけないでください。

●コードを止め金などで固定して使用しないでください。

●コードをたばねて使用しないでください。

●コードの上に重いものをのせたり、はさみ込んだりしないでください。

●コードを敷物の下にして使用しないでください。

●コードを無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじらないでください。

●コードが傷ついたままで使用しないでください。

●コンセントが破損したり、外れかけた状態で使用しないでください。

●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●コンセント部やプラグ部などの分解や改造をしないでください。

●コードをワゴンなどで踏み付けないでください。

●ロッカー用オプションのコンセントを取り付ける場合、各コンセントの電源プラグの接続は、ベース内で行ってください。

●健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。

●この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってください。

●この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿(温度28℃、相対湿度50%超が目安)になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。

1.安全上のご注意

- 運動具や乗物がわりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。(特にお子様にご注意ください。) 転倒や破損によるけがの原因になります。
- 使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。(特にお子様にご注意ください。) けがをする原因になります。
- 製品の上に立ち上がったり、腰を掛けたりしないでください。また、もたれかかたり、ぶら下がったりしないでください。(特にお子様にご注意ください。) 転倒や転落によるけがの原因になります。
- 床に傾斜や段差のある、不安定な場所では使用しないでください。 転倒によるけがの原因になります。
- 製品と収納物の重量に耐えられない場所には、設置しないでください。 転倒によるけが・破損の原因になります。
- アジャスターがある製品を設置する際は、本体の水平を保つようにアジャスターで調節してください。 前傾した状態で設置すると、扉が開いたり、引き出しが流れ出たり、本体が倒れてきて、けがをするおそれがあります。
- 専用のオプションパーツ以外は取り付けないでください。 落下によるけがや破損の原因になります。
- 可動部(引き出しや配線カバーなど)のすきまに手や指を入れないでください。 けがの原因になります。
- 棚爪のある製品は、4カ所とも同じ高さに取り付け、爪が側板に確実に入っていることを確認してください。 棚板やのせているものが落下し、けがや破損のおそれがあります。
- 引き出しがある製品は、引き出しを引き出した状態で、上から押さえたり、重いものをのせないでください。 本体の倒れや引き出しの破損によるけがの原因になります。
- 棚板に登らないでください。 棚板が外れたり、本体が倒れて、けがをする原因になります。
- トレーがある製品はトレーを引き出すとき、トレーが扉に当たらないように、トレーをまっすぐに引き出してください。 トレーや扉が傷ついたり、破損してけがをするおそれがあります。
- 引き出しがある製品は、引き出しを引き出せなかったり、引き出している途中で止まった場合は、無理に引き出さないでください。 破損によるけがの原因になります。
- 扉を開いた状態で、上から押さえたり引っ張ったりしないでください。 転倒や破損によるけがの原因になります。
- 施錠付きの製品には貴重品を入れないでください。 簡易施錠ですから、工具などによる破壊には耐えられません。
- 扉や引き戸、引き出しを施錠するときには、すべての扉や戸、引き出しが完全に閉まっていることを確認してから施錠してください。 扉や戸、引き出しが少しでも開いていると、キーが回っても施錠されない場合があります。
- のせるものが、天板からはみ出さないようにしてください。 ものが落下して、けがをするおそれがあります。

- ダブルロックユニットでは、ダブルロックユニットの上にものをのせないでください。 ものが落下したり、破損してけがをする原因になります。ものをのせるときは、本体の上に棚板を取り付けてください。
- 上置きの開き扉を開けたまま、下置きの収納部を使用しないでください。 立ち上がったときに、頭をぶつけてけがをする原因になります。
- 可動部に注油しないでください。 油がたれて床や衣類を汚す原因になります。
- コードダクト、コード受けにかばんなどを引っ掛けないでください。 落下によるけがや破損の原因になります。
- 基本テーブルを移動させるときは、のせているものをすべて取り除いてから行ってください。 のせているものが落下して、けがをするおそれがあります。
- 製品の分解や改造はしないでください。 けがや故障の原因になります。
- ストーブなど火気を近づけて使用しないでください。 やけどや火災の原因になります。
- 乱暴な取り扱いや用途以外の使用はしないでください。 けがや故障・破損の原因になります。
- キャスターがある製品は、移動するとき以外はキャスターのストッパーをロック位置にしてください。(転倒防止キャスターは除く。) 転倒などにより、けがをするおそれがあります。
- 扉や引き戸、引き出しの開閉はゆっくり行ってください。 ストッパーの乗り越えや破損によって引き出しが抜け落ち、けがをするおそれがあります。 手や指をはさむおそれがあります。
- ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。 本体の変形・破損や転倒により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。
- 溶接外れやリベットのゆるみ、アジャスターやキャップ類の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。 そのまま使用していると、製品の破損により、けがをするおそれがあります。
- 棚板などが変形した状態で使用しないでください。 落下や転倒などにより、けがをする原因になります。
- ガラスに傷や欠けが生じたときは、すぐに取り替えてください。 そのまま使用していると、破損しやすくなり、けがをするおそれがあります。
- 製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。 誤った使いかたや事故を防止するためのものです。ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ、正しい位置に貼ってからご使用ください。
- この製品を他の人が使用するときには、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。

2.未永くご使用いただくためのご注意

- この製品は室内または屋内用です。屋外での使用や水ぬれは、故障やさび・反り・変色・カビの発生の原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱、エアコンの風が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。変色や変形・そりなどのおそれがあります。
- 天板に飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などをそのまま放置しないでください。表面材の変色やはがれ、ひび割れ、そりなどの原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。
- 天板の上に、熱い湯のみや加熱したなべ・やかんなどを直接置かないでください。白く変色するおそれがあります。茶たくなべ敷きを敷いて使用してください。
- 天板の上でボールペンなど先のとがったものを、直接強く使用すると表面を傷つけたり、跡が残ったりするおそれがあります。下敷き付きデスクマットの使用をおすすめします。
- 天板の上に、金属や陶器などの硬いものを直接置かないでください。表面を傷つける原因になります。
- 製品の色は、使用環境により紫外線等の影響で少しずつ変化します。また、素材によって変化の程度が異なります。
- スイングタイプ配線カバーやコンセント付き配線カバー・配線カバー(置き式)の上に、重いものをのせないでください。落下や破損の原因になります。
- 使用開始後、のせたものの重量や床の状態により、本体にゆがみが出てくる場合があります。そのときは再度、本体の水平をアジャスターで調整してください。
- ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

3.使いかた

⚠警告

- 増連の最大連結数は3連(ただし、W1400以下の天板を含む場合は2連)です。最大連結数を超えないでください。転倒によるけがや破損の原因になります。

⚠注意

- 本体を持ち上げてアジャスターを調節するときは、転倒しないように注意して行ってください。また、持ち上げた本体を下ろすときも、手や足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- 天板の端に体重をかけたり、重いものをのせたりしないでください。転倒や転落によるけがや、ものの破損の原因になります。
- スイングタイプ配線カバーを開閉するときは、指や手をはさまないように注意してください。(スイングオープンタイプ)けがをする原因になります。
- スイングタイプ配線カバーやコンセント付き配線カバー・配線カバー(置き式)に、強い力や衝撃を加えないでください。破損によるけがの原因になります。
- お手入れの際は、必ずコンセントの電源プラグを電源コンセント(OAタップ)から抜いてください。(コンセント付きタイプ)

- コンセントを長期間使用しないときは、必ずコンセントの電源プラグを電源コンセント(OAタップ)から抜いてください。(コンセント付きタイプ)
- 基本テーブルを移設するときは、オプション類をすべて取り除いてから行ってください。オプション類が変形・落下して、けがをするおそれがあります
- 配線している基本テーブルを移設するときは、すべての配線を外し、コード類を傷つけないように注意して行ってください。コードの断線によるショートや感電のおそれがあります。
- 基本テーブルを移設するときは、必ず二人以上で持ち上げて行ってください。引きずりますと、床を傷つけたり、製品を破損するおそれがあります。

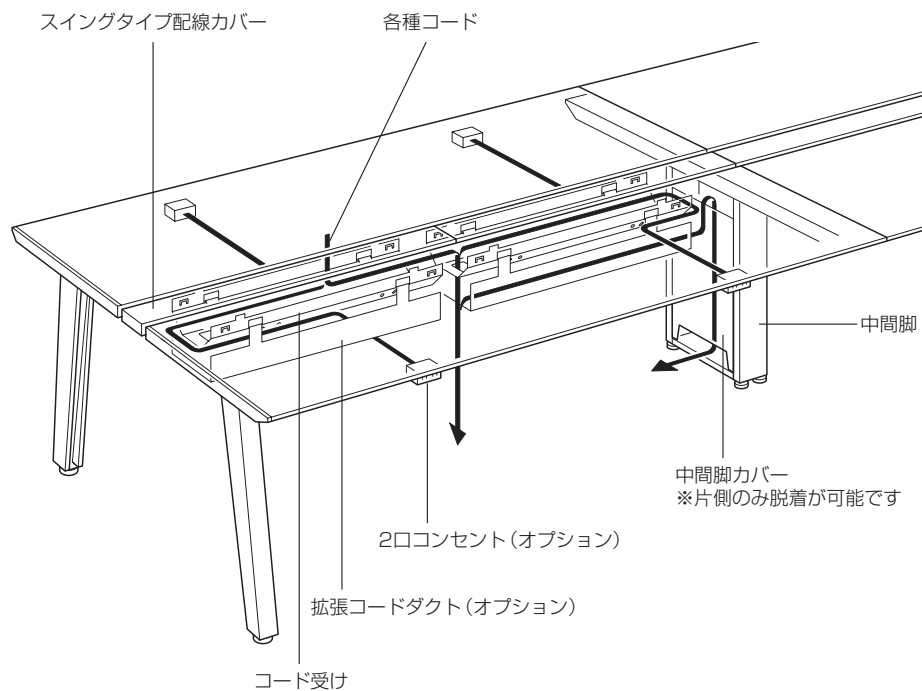
3. 使いかた

1 配線のしかた

- 各種コードの配線は、図のように行ってください。
- スイングタイプ配線カバー、配線カバー（置き式）を開けると、天板面からOAタップなどの出し入れができます。
- コード受けには、拡張コードダクト（オプション）を取り付けることができます。
- 天板裏面に2口コンセント（オプション）を取り付けることができます。

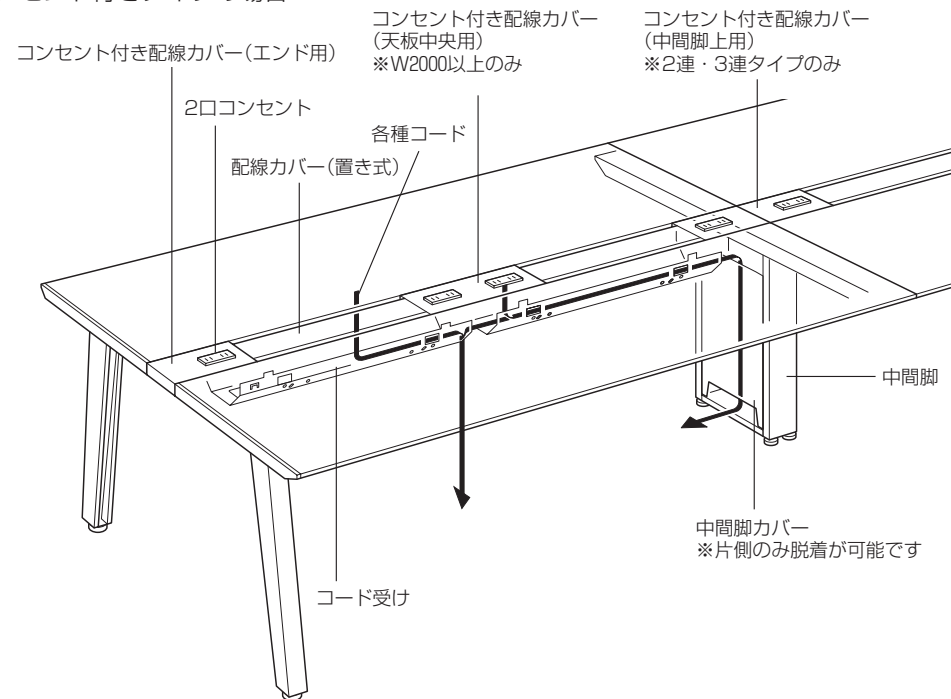
ワークテーブル 両面タイプ

スイングオープンタイプの場合



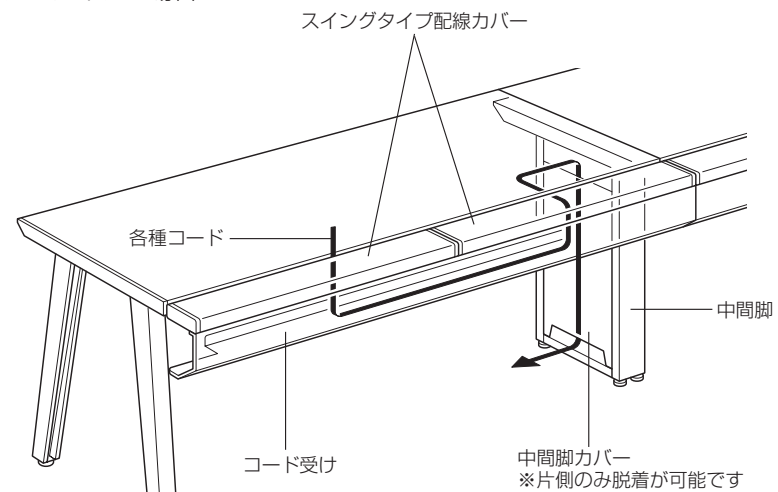
⑦

コンセント付きタイプの場合



ワークテーブル 片面タイプ

スイングオープンタイプの場合

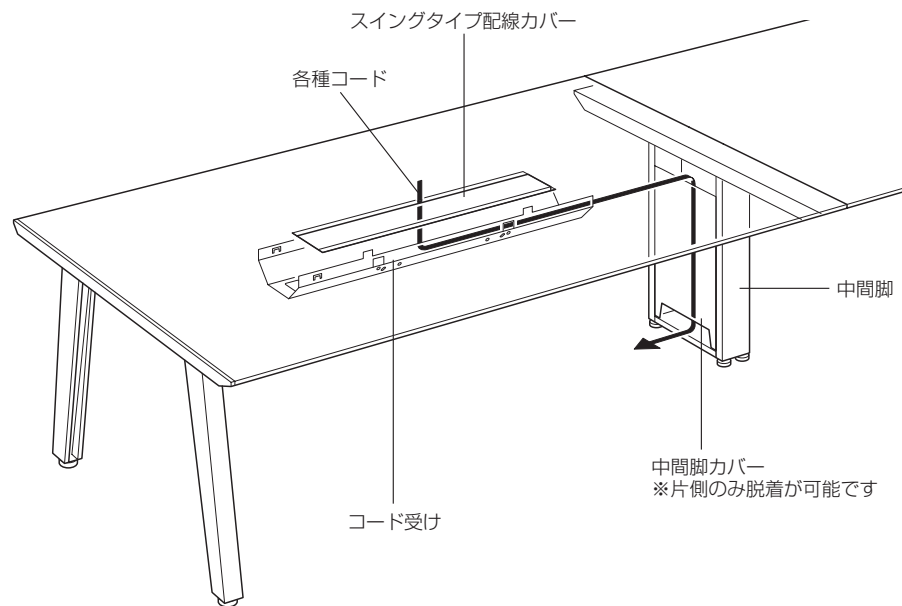


⑧

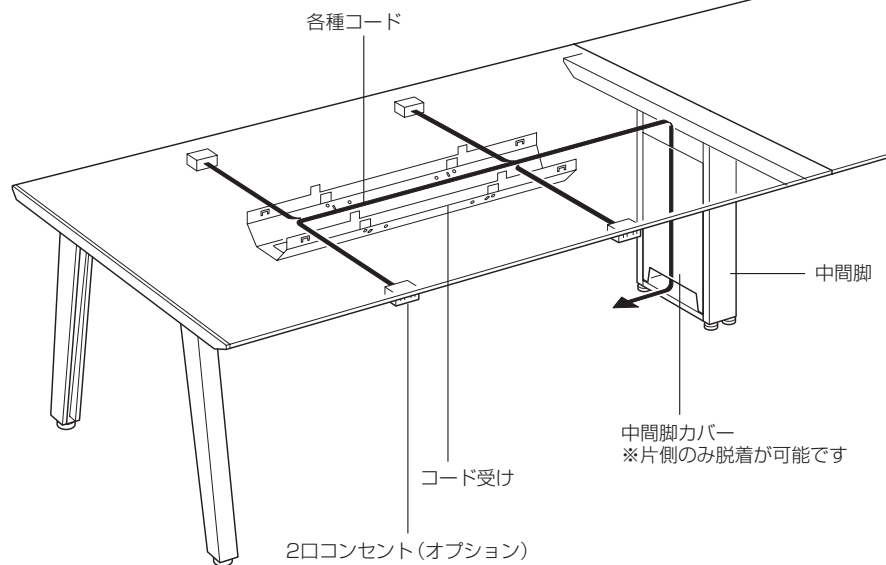
3. 使いかた

コミュニケーションテーブル

配線付きタイプの場合

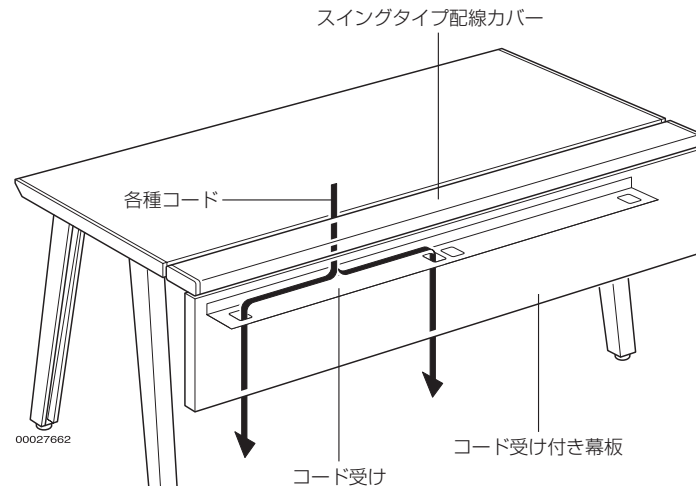


配線なしタイプの場合



⑨

マネージメントテーブル

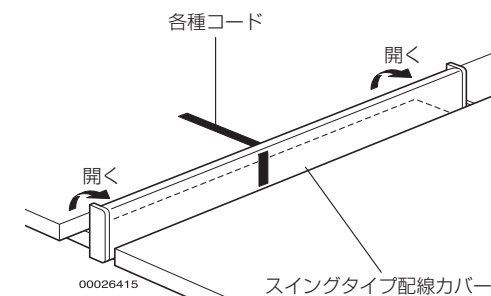
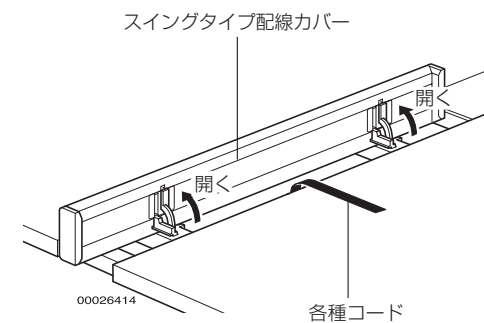


② スイングタイプ配線カバーの 使いかた

(スイングオープンタイプのみ)

ワークテーブル両面タイプ・コミュニ ケーションテーブルの場合

スイングタイプ配線カバーは、どちら側にも開きます。各種コードの配線にご使用ください。



⑩

3. 使いかた

ワークテーブル片面タイプ・マネージメントテーブルの場合

スイングタイプ配線カバーの手前側を開くことができます。

△注意

●スイングタイプ配線カバーを開閉するときは、指や手をはさまないように注意してください。

けがをする原因になります。

●スイングタイプ配線カバーに強い力や衝撃を加えないでください。

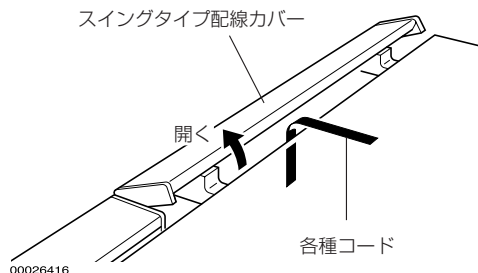
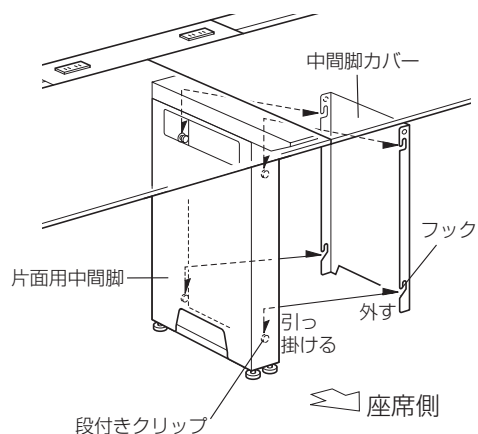
破損によるけがの原因になります。

③ 中間脚カバーの使いかた (2連・3連タイプのみ)

中間脚カバーは、図のように着脱することができます。

片面タイプの場合

※中間脚カバーは、座席から向かって右側が着脱可能です。



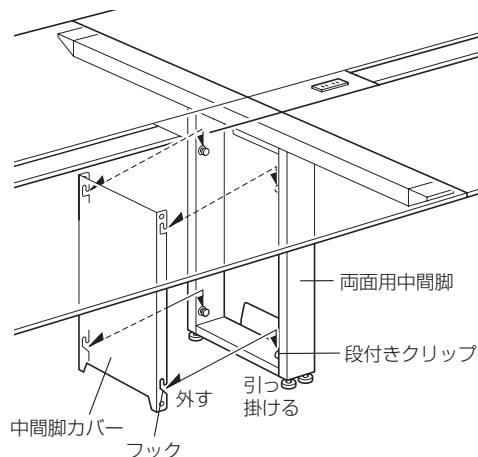
〈取り扱い時の注意〉

スイングタイプ配線カバーを勢いよく開けないでください。

脱落による破損の原因になります。

両面タイプの場合

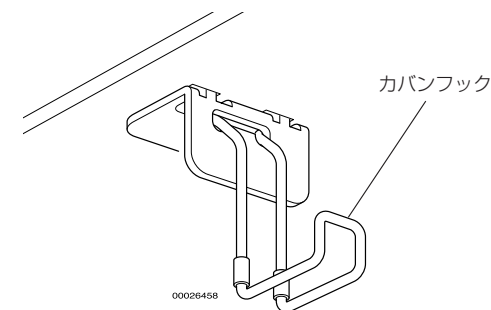
※中間脚カバーは、片側のみ着脱可能です。
(中間脚とビーム組立時に向きは選べます。
詳細は⑫ページをご確認ください。)



④ カバンフック(オプション)の 使いかた

天板裏面にカバンフックを、図のように取り付けることができます。

カバンフックには、カバンなどを引っ掛けることができます。

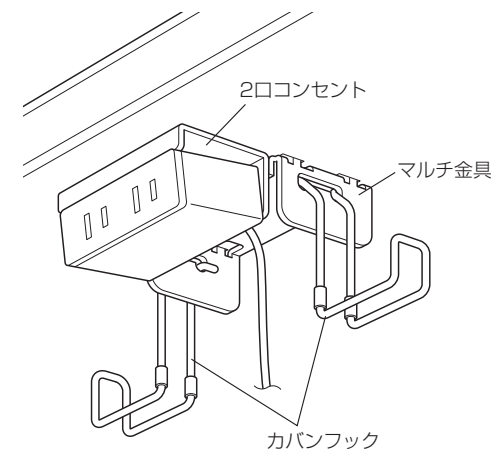


⑤ マルチ金具(オプション)の 使いかた

天板裏面にマルチ金具を、図のように取り付けることができます。

マルチ金具にはカバンフック(2個)を取り付けることができ、防災用のヘルメットやカバンなどを引っ掛けることができます。

マルチ金具には2口コンセントを取り付けることができます。2口コンセントは、定格消費電力合計が1500W以内で使用してください。

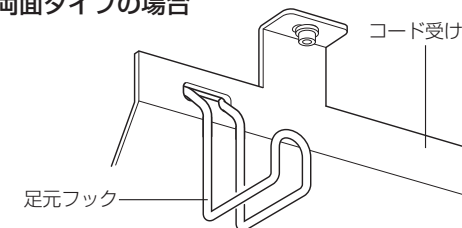


⑥ 足元フック(オプション)の 使いかた

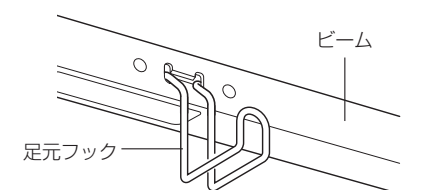
足元フックを、図のように取り付けることができます。両面タイプはコード受けに、片面タイプはビームに取り付けてください。

足元フックには、防災用のヘルメットなどを引っ掛けることができます。

両面タイプの場合

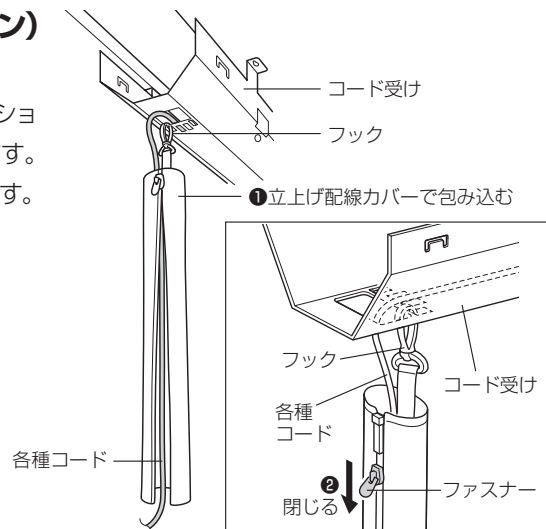


片面タイプの場合



7 立ち上げ配線カバー (オプション) の使いかた

コード受けに立ち上げ配線カバー (オプション) を、図のように取り付けることができます。各種コードの配線カバーとして使用できます。



4.お手入れのしかた

△注意

コンセント付きタイプや2口コンセント (オプション) を取り付けているテーブルのお手入れするときは、必ずコンセントの電源プラグを電源コンセント (OAタップ) から抜いてください。

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布で拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
 1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
 2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
 3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

汚れを落とすときの注意

水にぬれたままにしないでください。また市販の各種クリーナーやワックス、シミ抜きなどを使用される際は、その使用方法や使用上の注意をご理解の上、お客様の判断においてご使用ください。正しく使用されないと変色や変形など異常の原因になります。

■消毒のしかた

消毒のしかたと注意事項については、以下をご覧ください。

https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manual/pdf/how_to_clean.pdf



5.部品の交換について

部品の交換をご希望の場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までお問い合わせください。

△注意

お客様での交換作業はしないでください。製品の故障・破損の原因になります。

6.仕様

ワークテーブル 両面タイプ

基本タイプ

配線カバー品番: DSNU-	S201 PD201	S201 PD201	S241 PD241	S241 PD241	S281 PD281	S281 PD281
天板セット品番: DSNT-	AD□2012	AD□2014	AD□2412	AD□2414	AD□2812	AD□2814
脚セット品番: DSNF-	(T・K) □					
外寸法 (mm)	幅	2005	2005	2405	2405	2805
	奥行き	1200	1400	1200	1400	1200
	高さ	720	720	720	720	720

増連タイプ

配線カバー品番: DSNU-	SW10 PJ101	SW10 PJ101	SW12 PJ121	SW12 PJ121	SW14 PJ141	SW14 PJ141
天板セット品番: DSNT-	AJ□1012	AJ□1014	AJ□1212	AJ□1214	AJ□1412	AJ□1414
外寸法 (mm)	幅	1000	1000	1200	1200	1400
	奥行き	1200	1400	1200	1400	1200
	高さ	720	720	720	720	720

配線カバー品番: DSNU-	S201 PJ201	S201 PJ201	S241 PJ241	S241 PJ241	S281 PJ281	S281 PJ281
天板セット品番: DSNT-	AJ□2012	AJ□2014	AJ□2412	AJ□2414	AJ□2812	AJ□2814
外寸法 (mm)	幅	2000	2000	2400	2400	2800
	奥行き	1200	1400	1200	1400	1200
	高さ	720	720	720	720	720

6.仕様

ワークテーブル 片面タイプ

基本タイプ

配線カバー品番：DSNU-	S200 PD200	S200 PD200	S240 PD240	S240 PD240	S280 PD280	S280 PD280	
天板セット品番：DSNT-	AD□2012	AD□2014	AD□2412	AD□2414	AD□2812	AD□2814	
脚セット品番：DSNF-	(T・K)						
外寸法 (mm)	幅	2005	2005	2405	2405	2805	2805
	奥行き	635	735	635	735	635	735
	高さ	720	720	720	720	720	720

増連タイプ

配線カバー品番：DSNU-	S100 PJ100	S100 PJ100	S120 PJ120	S120 PJ120	S140 PJ140	S140 PJ140	
天板セット品番：DSNT-	AJ□1012	AJ□1014	AJ□1212	AJ□1214	AJ□1412	AJ□1414	
外寸法 (mm)	幅	1000	1000	1200	1200	1400	1400
	奥行き	635	735	635	735	635	735
	高さ	720	720	720	720	720	720

配線カバー品番：DSNU-	S200 PJ200	S200 PJ200	S240 PJ240	S240 PJ240	S280 PJ280	S280 PJ280	
天板セット品番：DSNT-	AJ□2012	AJ□2014	AJ□2412	AJ□2414	AJ□2812	AJ□2814	
外寸法 (mm)	幅	2000	2000	2400	2400	2800	2800
	奥行き	635	735	635	735	635	735
	高さ	720	720	720	720	720	720

コミュニケーションテーブル

基本タイプ

天板セット品番：DSNT-	BD□2111 CD□2111	BD□2411 CD□2411	
脚セット品番：DSNF-	(T・K)		
外寸法 (mm)	幅	2105	2405
	奥行き	1050	1050
	高さ	720	720

増連タイプ

天板セット品番：DSNT-	BJ□2111 CJ□2111	BJ□2411 CJ□2411	
外寸法 (mm)	幅	2100	2400
	奥行き	1050	1050
	高さ	720	720

マネージメントテーブル

配線カバー品番：DSNU-	S140	S160	S180	
天板セット品番：DSNT-	MD□1407	MD□1607	MD□1807	
脚セット品番：DSNF-	(T・K)			
外寸法 (mm)	幅	1405	1605	2405
	奥行き	735	735	735
	高さ	720	720	720

素材

天板	表面材：化粧シート、芯材：スチール	
エンドキャップ	樹脂 (ABS)	
エンド脚	スチール (焼付塗装) / スチール (メッキ) / スチール (焼付塗装)、化粧シート、樹脂 (ABS)	
中間脚	スチール (焼付塗装)、樹脂 (ABS)	
ビーム	スチール (焼付塗装)、樹脂 (ABS)	
コード受け	スチール (焼付塗装)	
配線カバー	スイングオープン	アルミ押出材、樹脂 (ABS)
	コンセント付き	スチール (焼付塗装)、樹脂 (ABS、POM)
配線カバー受け	スイングオープン	樹脂 (ABS)
	コンセント付き	スチール (焼付塗装)
アジャスター	角型	樹脂 (ナイロン)
	長円	樹脂 (PP)

耐荷重 (全面に均等にのせた場合の1枚当たりの耐荷重)

耐荷重	天板	1470N [150kgf]
	コード受け	49N [5kgf]
	配線カバー	49N [5kgf]

△注意

- 耐荷重 (上表の数値) を超えて、ものを置かないで (入れないで) ください。
 - ・故障や変形の原因になります。
 - ・落下によるけがや破損の原因になります。

7.組み立てかた

△注意

- 製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。
- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。
転倒や部品の落下によるけが・破損のおそれがあります。

1 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

ワークテーブル 両面タイプ

タイプ			スイングオープンタイプ							
			増連タイプ		基本タイプ		増連タイプ			
配線カバーセット品番: DSNU-			SW10 SW12	SW14	S201			S241 S281		
天板セット品番: DSNT-			AJ□1012 AJ□1014 AJ□1212 AJ□1214	AJ□1412 AJ□1414	AD□2012	AD□2014	AJ□2012 AJ□2014	AD□2412 AD□2812	AD□2414 AD□2814	AJ□2412 AJ□2414 AJ□2812 AJ□2814
脚セット品番: DSNF-			—		T K		—		T K	
セット名称	梱包品番	部品の種類	—	—	T K		—		T K	
配線カバー	DSNU-SW	スイングタイプ 配線カバー	1	1	2	2	2	2	2	2
	DSNU-JSW	スイングタイプ 配線カバー受け 六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	2	2	4	4	4	4	4	4
天板	DSNT-A	天板	2	2	2	2	2	2	2	2
	DSNK-A	天板キャップ	—	—	L×2 R×2※	L×2 R×2※	—	L×2 R×2※	L×2 R×2※	—
		タップタイト4×10	—	—	16	16	—	16	16	—
	DSNJ-C	天板連結樹脂	4	4	—	—	4	—	—	4
	DT1B-	ビーム(長)	2	2	2	2	2	2	2	2
		六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	4	6	6	6	6	8	8	8
	DSNB-DW	ビーム(短)	—	—	2	2	—	2	2	—
		六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	—	—	4	8	—	4	8	—
DSNA-DW	コード受け 六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	1	1	2	2	2	2	2	2	
		六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	4	4	8	8	8	8	8	8

タイプ			スイングオープンタイプ							
			増連タイプ		基本タイプ		増連タイプ			
配線カバーセット品番: DSNU-			SW10 SW12	SW14	S201			S241 S281		
天板セット品番: DSNT-			AJ□1012 AJ□1014 AJ□1212 AJ□1214	AJ□1412 AJ□1414	AD□2012	AD□2014	AJ□2012 AJ□2014	AD□2412 AD□2812	AD□2414 AD□2814	AJ□2412 AJ□2414 AJ□2812 AJ□2814
脚セット品番: DSNF-			—		T K		—		T K	
セット名称	梱包品番	部品の種類	—	—	T K		—		T K	
天板	DT1F-AJTH	中間脚天板引込金具	4	4	—	—	4	—	—	4
	DT1F-WJS	中間脚上ステー	1	1	—	—	1	—	—	1
		六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	4	4	—	—	4	—	—	4
		六角穴付ボタンボルト M8×20	4	4	—	—	4	—	—	4
	DT1F-WJM	中間脚支柱	1	1	—	—	1	—	—	1
		六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	4	4	—	—	4	—	—	4
	DT1F-AJ10	中間脚ビーム連結金具 オス・メスセット	2	2	—	—	2	—	—	2
		六角穴付キャップボルト M8×120	2	2	—	—	2	—	—	2
		平座金 M8用	2	2	—	—	2	—	—	2
		六角穴付ボタンボルト M8×45	4	4	—	—	4	—	—	4
脚	DSNF-(T・K)L	六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	4	4	—	—	4	—	—	4
		六角穴付キャップボルト M8×45	—	—	2	2	—	2	2	—
		脚L	—	—	2	2	—	2	2	—
	DSNF-(T・K)R	六角穴付段付ボルト M6×19(頭長37)	—	—	6	6	—	6	6	—
		六角穴付ボタンボルト M8×45	—	—	2	2	—	2	2	—
		脚R	—	—	2	2	—	2	2	—
		六角穴付段付ボルト M6×19(頭長37)	—	—	6	6	—	6	6	
		六角穴付ボタンボルト M8×45	—	—	2	2	—	2	2	

※平エッジの場合は、LとRが同じ形状です。

7.組み立てかた

ワークテーブル 両面タイプ

タイプ			コンセント付きタイプ							
			増連タイプ		基本タイプ		増連タイプ		基本タイプ	
配線カバーセット品番: DSNU-			PJ101	PJ141	PD201		PJ201	PD241 PD281		PJ241 PJ281
天板セット品番: DSNT-			AJ□1012 AJ□1014 AJ□1212 AJ□1214	AJ□1412 AJ□1414	AD□2012	AD□2014	AJ□2012 AJ□2014	AD□2412 AD□2812	AD□2414 AD□2814	AJ□2412 AJ□2414 AJ□2812 AJ□2814
脚セット品番: DSNF-			—		T K		—		T K	
セット名称	梱包品番	部品の種類	—	—	T K		—		T K	
配線カバー	DSNU-PWE	コンセント付き配線カバー (エンド用)	—	—	2	2	—	2	2	—
		コンセントカバー受け	—	—	2	2	—	2	2	—
		六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	—	—	4	4	—	4	4	—
	DSNU-PWC	コンセント付き配線カバー (天板中央用)	—	—	1	1	1	1	1	1
		六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	—	—	4	4	4	4	4	4
	DSNU-PWF	コンセント付き配線カバー (中間脚上用)	1	1	—	—	1	—	—	1
		コンセントカバー受け	2	2	—	—	2	—	—	2
		六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	4	4	—	—	4	—	—	4
	DSNU-PW(S)1	コンセント付き配線カバー (置き式)	1	1	2	2	2	2	2	2
	天板	DSNT-A	天板	2	2	2	2	2	2	2
DSNK-A		天板キャップ	—	—	L×2 R×2※	L×2 R×2※	—	L×2 R×2※	L×2 R×2※	—
		タップタイト4×10	—	—	16	16	—	16	16	—
DSNJ-C		天板連結樹脂	4	4	—	—	4	—	—	4
DT1B-		ビーム (長)	2	2	2	2	2	2	2	2
		六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	4	6	6	6	6	8	8	8
DSNB-DW		ビーム (短)	—	—	2	2	—	2	2	—
		六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	—	—	4	8	—	4	8	—
DSNA-DW		コード受け	1	1	2	2	2	2	2	2
		六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	4	4	8	8	8	8	8	8

タイプ			コンセント付きタイプ							
			増連タイプ		基本タイプ		増連タイプ		基本タイプ	
配線カバーセット品番: DSNU-			PJ101	PJ141	PD201		PJ201	PD241 PD281		PJ241 PJ281
天板セット品番: DSNT-			AJ□1012 AJ□1014 AJ□1212 AJ□1214	AJ□1412 AJ□1414	AD□2012	AD□2014	AJ□2012 AJ□2014	AD□2412 AD□2812	AD□2414 AD□2814	AJ□2412 AJ□2414 AJ□2812 AJ□2814
脚セット品番: DSNF-			—		T K		—		T K	
セット名称	梱包品番	部品の種類	—	—	T K		—		T K	
天板	DT1F-AJTH	中間脚天板引込金具	4	4	—	—	4	—	—	4
		中間脚上ステー	1	1	—	—	1	—	—	1
	DT1F-WJS	六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	4	4	—	—	4	—	—	4
		六角穴付ボタンボルト M8×20	4	4	—	—	4	—	—	4
	DT1F-WJM	中間脚支柱	1	1	—	—	1	—	—	1
		六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	4	4	—	—	4	—	—	4
	DT1F-AJ10	中間脚ビーム連結金具 オス・メスセット	2	2	—	—	2	—	—	2
		六角穴付キャップボルト M8×120	2	2	—	—	2	—	—	2
		平座金 M8用	2	2	—	—	2	—	—	2
		六角穴付ボタンボルト M8×45	4	4	—	—	4	—	—	4
脚	DSNF-(T・K)L	六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	4	4	—	—	4	—	—	4
		脚L	—	—	2	2	—	2	2	—
		六角穴付段付ボルト M6×19 (頭長37)	—	—	6	6	—	6	6	—
	DSNF-(T・K)R	六角穴付ボタンボルト M8×45	—	—	2	2	—	2	2	—
		脚R	—	—	2	2	—	2	2	—
		六角穴付段付ボルト M6×19 (頭長37)	—	—	6	6	—	6	6	—
		六角穴付ボタンボルト M8×45	—	—	2	2	—	2	2	—

※平エッジの場合は、LとRが同じ形状です。

7.組み立てかた

ワークテーブル 片面タイプ

タイプ			シングオープンタイプ				
			増連タイプ		基本タイプ	増連タイプ	基本タイプ
配線カバーセット品番: DSNU-			S100 S120	S140	S200		S240 S280
天板セット品番: DSNT-			AJ□1006 AJ□1007 AJ□1206 AJ□1207	AJ□1406 AJ□1407	AD□2006 AD□2007	AJ□2006 AJ□2007	AD□2406 AD□2407 AD□2806 AD□2807
脚セット品番: DSNF-			—	—	T K	—	T K
セット名称	梱包品番	部品の種類	—	—	T K	—	T K
配線カバー	DSNU-SF	シングタイプ配線カバー	1	1	2	2	2
	DSNU-JSF	シングタイプ配線カバー受け	2	2	4	4	4
天板	DSNT-A	天板	1	1	1	1	1
	DSNK-A	天板キャップ	—	—	L×1 R×1 ※	—	L×1 R×1 ※
		タップタイト4×10	—	—	8	—	8
	DSNJ-C	天板連結樹脂	—	—	—	2	—
	DT1B-	ビーム(長)	2	2	2	2	2
		六角穴付キャップボルト(フランジ付) M6×20	4	6	6	6	8
	DSNB-DF	ビーム(短)	—	—	2	—	2
		六角穴付キャップボルト(フランジ付) M6×20	—	—	2	—	2
	DSNA-DF	コード受け	1	1	1	1	1
		六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	2	2	2	2	2
	DT1F-AJTH	中間脚天板引込金具	2	2	—	2	—
		中間脚	1	1	—	1	—
	DT1F-WJM	六角穴付キャップボルト(フランジ付) M6×20	4	4	—	4	—
		中間脚ビーム連結金具オス・メスセット	2	2	—	2	—
	DT1F-AJ10	六角穴付キャップボルト M8×120	2	2	—	2	—
		平座金 M8用	2	2	—	2	—
		六角穴付ボタンボルト M8×45	4	4	—	4	—
六角穴付キャップボルト(フランジ付) M6×20		4	4	—	4	—	
脚	DSNF-(T・K)L	脚L	—	—	2	—	2
		六角穴付段付ボルト M6×19(頭長37)	—	—	6	—	6
		六角穴付ボタンボルト M8×45	—	—	2	—	2
	DSNF-(T・K)R	脚R	—	—	2	—	2
		六角穴付段付ボルト M6×19(頭長37)	—	—	6	—	6
		六角穴付ボタンボルト M8×45	—	—	2	—	2

※平エッジの場合は、LとRが同じ形状です。

タイプ		コンセント付きタイプ						
		増連タイプ		基本タイプ	増連タイプ	基本タイプ	増連タイプ	
配線カバーセット品番: DSNU-		PJ100 PJ120	PJ140	PD200	PJ200	PD240 PD280	PJ240 PJ280	
天板セット品番: DSNT-		AJ□1006 AJ□1007 AJ□1206 AJ□1207	AJ□1406 AJ□1407	AD□2006 AD□2007	AJ□2006 AJ□2007	AD□2406 AD□2407 AD□2806 AD□2807	AJ□2406 AJ□2407 AJ□2806 AJ□2807	
脚セット品番: DSNF-		—	—	T K	—	T K	—	
セット名称	梱包品番	部品の種類						
配線カバー	DSNU-PFE	コンセント付き配線カバー(エンドL用)	—	—	1	—	1	
		コンセント付き配線カバー(エンドR用)	—	—	1	—	1	
		コンセントカバー受けL	—	—	1	—	1	
		コンセントカバー受けR	—	—	1	—	1	
		六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	—	—	4	—	4	
		プッシュリベット	—	—	4	—	4	
	DSNU-PFC	コンセント付き配線カバー(中間用)	1	1	1	2	1	
		コンセントカバー受けL	1	1	1	2	1	
		コンセントカバー受けR	1	1	1	2	1	
		六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	4	4	4	8	4	
		プッシュリベット	2	2	2	4	2	
		DSNU-PF(S)1	配線カバー(コンセント付きカバー本体)	1	1	2	2	2
	天板	DSNT-A	天板	1	1	1	1	1
		DSNK-A	天板キャップ	—	—	L×1 R×1 ※	—	L×1 R×1 ※
タップタイト4×10			—	—	8	—	8	
DSNJ-C		天板連結樹脂	2	2	—	2	—	
DT1B-		ビーム(長)	2	2	2	2	2	
		六角穴付キャップボルト(フランジ付) M6×20	4	6	6	6	8	
DSNB-DF		ビーム(短)	—	—	2	—	2	
		六角穴付キャップボルト(フランジ付) M6×20	—	—	2	—	2	
DSNA-DF		コード受け	1	1	2	2	2	
		六角穴付キャップボルト(平座金付) M6×20	4	4	8	8	8	
DT1F-AJTH		中間脚天板引込金具	2	2	—	2	—	
DT1F-WJM		中間脚	1	1	—	1	—	
		六角穴付キャップボルト(フランジ付) M6×20	4	4	—	4	—	
DT1F-AJ10		中間脚ビーム連結金具オス・メスセット	2	2	—	2	—	
	六角穴付キャップボルト M8×120	2	2	—	2	—		
	平座金 M8用	2	2	—	2	—		
	六角穴付ボタンボルト M8×45	4	4	—	4	—		
脚	DSNF-(T・K)L	脚L	—	—	2	—	2	
		六角穴付段付ボルト M6×19(頭長37)	—	—	6	—	6	
		六角穴付ボタンボルト M8×45	—	—	2	—	2	
	DSNF-(T・K)R	脚R	—	—	2	—	2	
		六角穴付段付ボルト M6×19(頭長37)	—	—	6	—	6	
		六角穴付ボタンボルト M8×45	—	—	2	—	2	

※平エッジの場合は、LとRが同じ形状です。

7.組み立てかた

コミュニケーションテーブル

タイプ			配線付きタイプ				配線なしタイプ			
			基本タイプ		増連タイプ		基本タイプ		増連タイプ	
天板セット品番: DSNT-			BDF2111	BDF2411	BJF2111	BJF2411	CDF2111	CDF2411	CJF2111	CJF2411
脚セット品番: DSNF-			T		—		T		—	
セット名称	梱包品番	部品の種類	K		—		K		—	
天板	DSNT-B	天板	1		1		—		—	
	DSNT-C	天板	—		—		1		1	
	DSNK-B	天板キャップ	L×2 R×2 中央×2※		—		L×2 R×2 中央×2※		—	
		タップタイト4×10	12	12	—	—	12	12	—	—
	DSNJ-C	天板連結樹脂	—	—	4	4	—	—	4	4
		ビーム(長)	2	2	2	2	2	2	2	2
	DT1B-	六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	6	8	6	8	6	8	6	8
		ビーム(短)	2	2	—	—	2	2	—	—
	DSNB-DK	六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	2	2	—	—	2	2	—	—
	DSNU-SW10	スイングタイプ配線カバー	1	1	1	1	—	—	—	—
	DSNU-JSW	スイングタイプ配線カバー 受け	2	2	2	2	—	—	—	—
		六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	4	4	4	4	—	—	—	—
	DSNA-DW	コード受け	1	1	1	1	1	1	1	1
		六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	4	4	4	4	4	4	4	4
	DT1F-AJTH	中間脚天板引込金具	—	—	4	4	—	—	4	4
		中間脚上ステー	—	—	1	1	—	—	1	1
	DT1F-WJS	六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	—	—	4	4	—	—	4	4
		六角穴付ボタボルト M8×20	—	—	4	4	—	—	4	4
	DT1F-WJM	中間脚支柱	—	—	1	1	—	—	1	1
		六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	—	—	4	4	—	—	4	4
DT1F-AJ10	中間脚ビーム連結金具 オス・メセット	—	—	2	2	—	—	2	2	
	六角穴付キャップボルト M8×120	—	—	2	2	—	—	2	2	
	平座金 M8用	—	—	2	2	—	—	2	2	
	六角穴付ボタボルト M8×45	—	—	4	4	—	—	4	4	
脚	DSNF-(T・K)L	六角穴付段付ボルト M6×19(頭長37)	6	6	—	—	6	6	—	—
		六角穴付ボタボルト M8×45	2	2	—	—	2	2	—	—
	DSNF-(T・K)R	脚R	2	2	—	—	2	2	—	—
		六角穴付段付ボルト M6×19(頭長37)	6	6	—	—	6	6	—	—
		六角穴付ボタボルト M8×45	2	2	—	—	2	2	—	—

※平エッジの場合は、LとRが同じ形状です。

マネージメントテーブル

タイプ			スイングオープンタイプ	
			基本タイプ	
配線カバーセット品番: DSNU-			S140 S160	S180
天板セット品番: DSNT-			MD□1407 MD□1607	MD□1807
脚セット品番: DSNF-			T	
セット名称	梱包品番	部品の種類	K	
配線カバー	DSNU-SF	スイングタイプ配線カバー	1	2
		スイングタイプ配線カバー 受け	2	4
	DSNU-JSF	六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	4	8
		天板	1	1
天板	DSNK-A	天板キャップ	L×1 R×1※	L×1 R×1※
		タップタイト4×10	8	8
	DSNJ-C	天板連結樹脂	—	—
	DT1B-	ビーム(長)	2	2
		六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	6	6
	DSNB-DF	ビーム(短)	2	2
		六角穴付キャップボルト (フランジ付) M6×20	2	2
	DSNA-DM	コード受け付き幕板	1	1
		幕板取付金具	L×1、R×1	L×1、R×1
		六角穴付キャップボルト (平座金付) M6×20	4	4
		六角穴付ボタボルト M8×20	4	4
	脚	DSNF-(T・K)L	シムカード(緑)	2
シムカード(白)			2	2
DSNF-(T・K)R		脚L	2	2
		六角穴付段付ボルト M6×19(頭長37)	6	6
		六角穴付ボタボルト M8×45	2	2
		脚R	2	2
	六角穴付段付ボルト M6×19(頭長37)	6	6	
	六角穴付ボタボルト M8×45	2	2	

※平エッジの場合は、LとRが同じ形状です。

7.組み立てかた

この組立説明は、ワークテーブル両面タイプの2連で行っています。片面タイプやコミュニケーションテーブル・マネジメントテーブルは、異なる箇所のみ説明しています。
基本タイプは中間脚の取り付けがありません。また、3連は中間脚が1つ増えます。

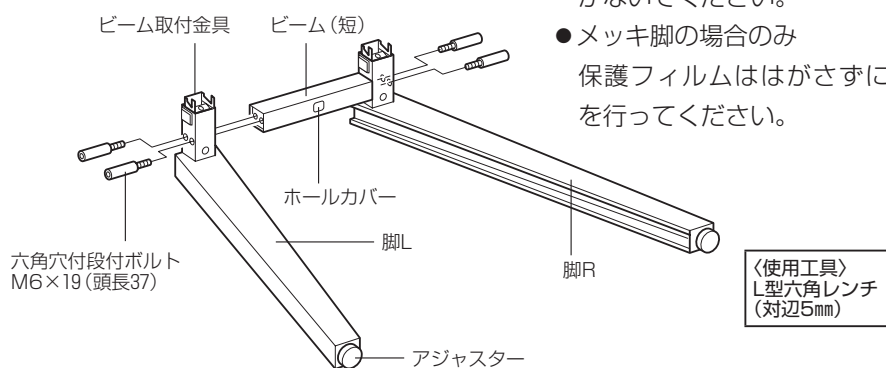
②脚とビーム(短)の組み立て

- 脚(4本)のアジャスターを、いっぱいまでねじ込んでください。
- 脚のビーム取付金具にビーム(短)を、図のようにボルトで仮締めしてください。
※ビーム(短)は、ホールカバーが下側に、ロットシールが内側になるように取り付けてください。

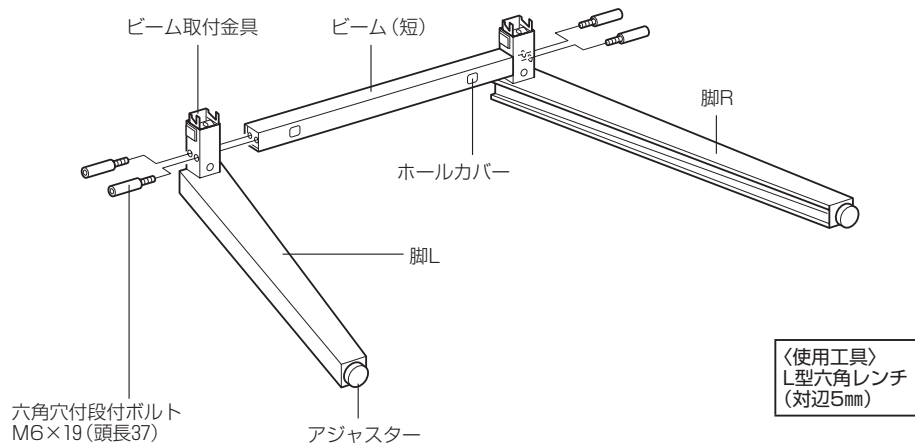
〈ご注意〉

- 組み立ての際は、脚に付属している緩衝材を敷くなどして、脚を直接床に置かないでください。
- メッキ脚の場合のみ
保護フィルムははがさずに組み立てを行ってください。

片面タイプの場合



両面タイプの場合

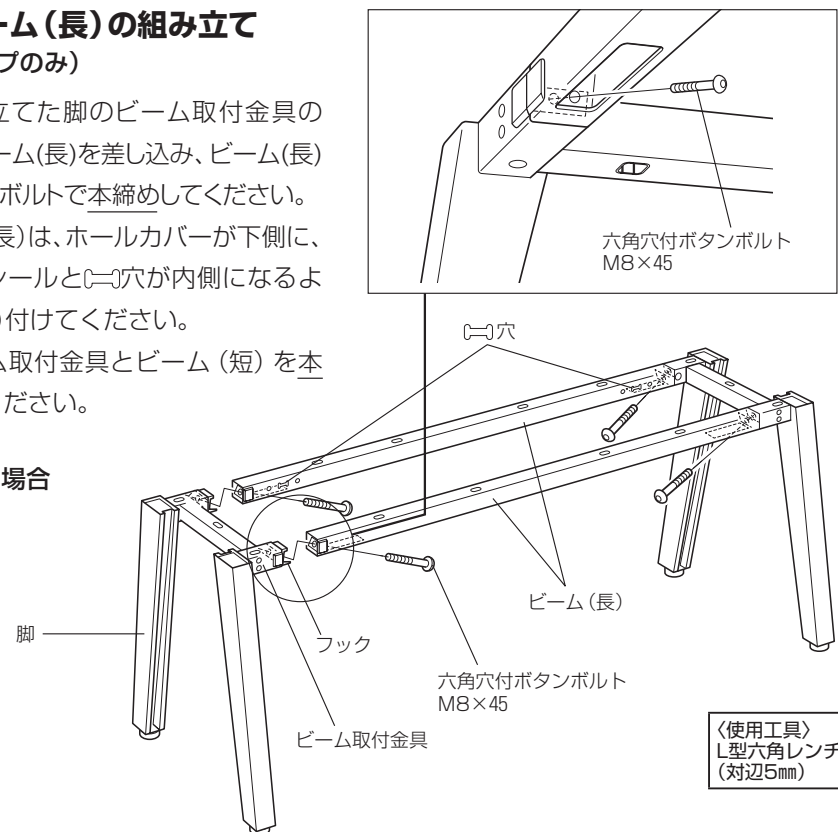


25

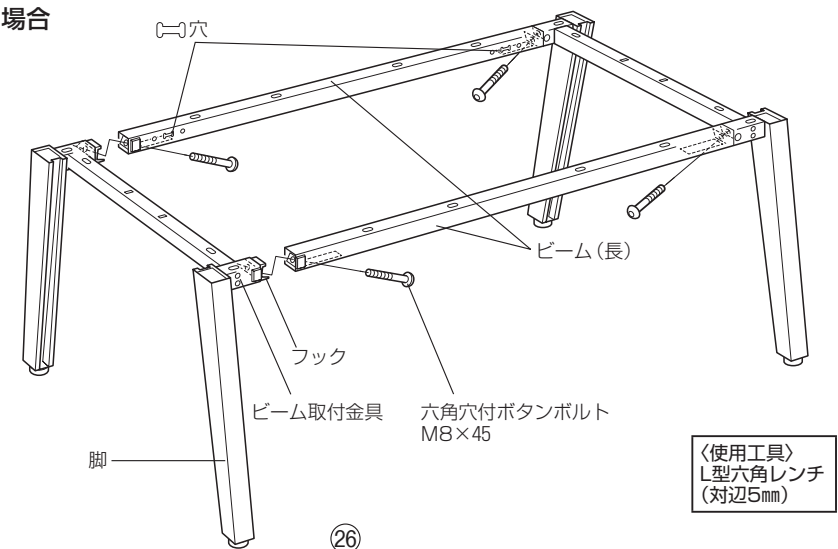
③脚とビーム(長)の組み立て (基本タイプのみ)

- ②で組み立てた脚のビーム取付金具のフックにビーム(長)を差し込み、ビーム(長)の下側からボルトで本締めしてください。
※ビーム(長)は、ホールカバーが下側に、ロットシールとC-穴が内側になるように取り付けてください。
- 脚のビーム取付金具とビーム(短)を本締めしてください。

片面タイプの場合



両面タイプの場合

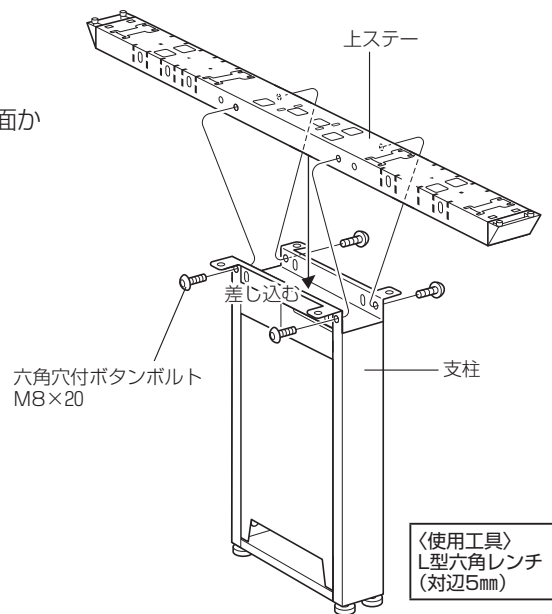


26

4 中間脚の組み立て

1.両面タイプの場合のみ

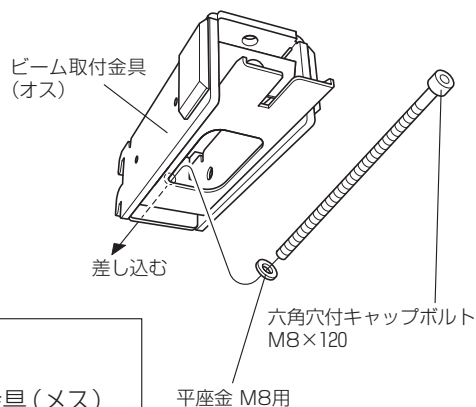
支柱に上ステーを差し込み、支柱の側面からボルトで本締めしてください。



2.ビーム取付金具 (オス) の下側から平座金とボルトを差し込んでください。

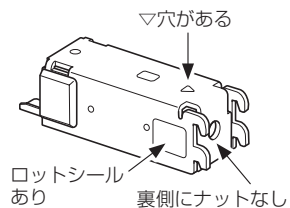
〈ご注意〉

ビーム取付金具には、オスとメスの2種類があり、ビーム取付金具 (オス) には▽穴が開いています。

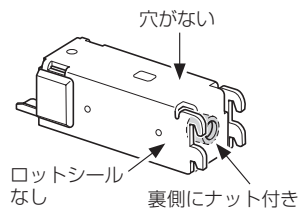


ビーム取付金具の種類

ビーム取付金具 (オス)



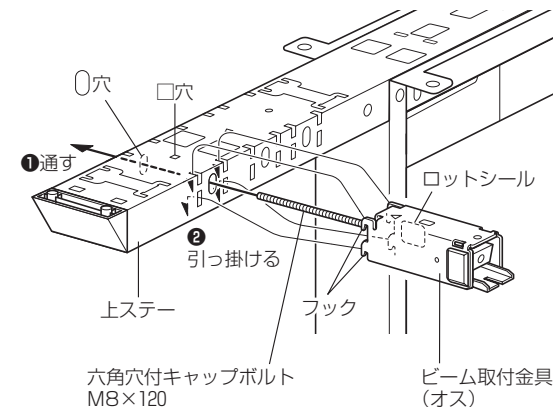
ビーム取付金具 (メス)



3.ビーム取付金具 (オス) に差し込んだボルトを上ステーに差し込み、ビーム取付金具 (オス) のフックを上ステーに引っ掛けてください。

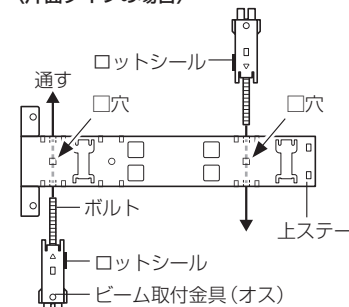
〈ご注意〉

- 上ステーの上面に□穴が開いている箇所の側面にある○穴に、ボルトを差し込んでください。
- ビーム取付金具 (オス) は、ロットシールが内側になるように取り付けてください。

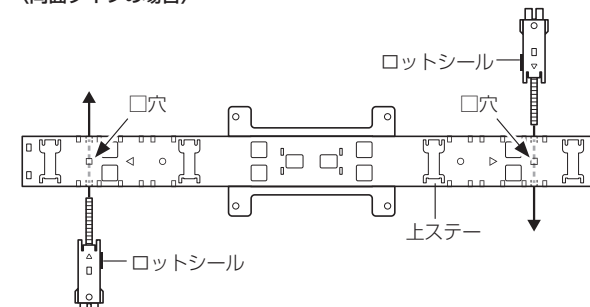


ボルトを差し込む位置 ※ロットシールが内側になるように取り付けてください。

〈片面タイプの場合〉

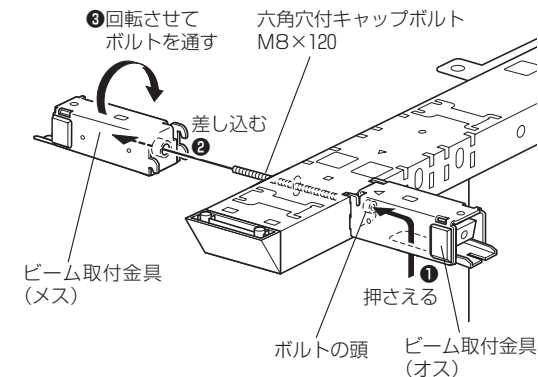


〈両面タイプの場合〉



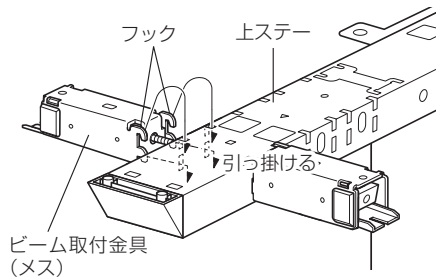
4.「3」で貫通させたボルトに、ビーム取付金具 (メス) を差し込み、ビーム取付金具 (メス) を回転させてボルトを通してください。

※この時、ビーム取付金具 (オス) の下側からボルトの頭を押さえてボルトが回らないように固定してください。



7.組み立てかた

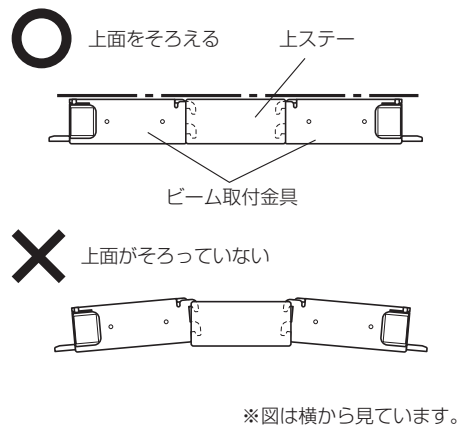
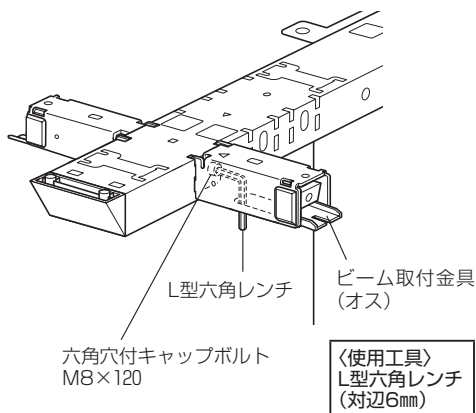
5. ビーム取付金具（メス）を回転させて外れないようになったら、ビーム取付金具（メス）のフックを上ステーに差し込んでください。



6. ビーム取付金具（オス）の下側からボルトを本締めしてください。

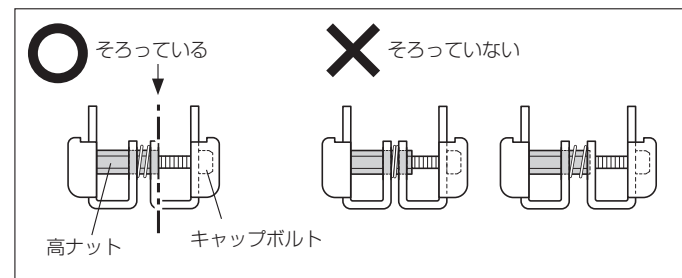
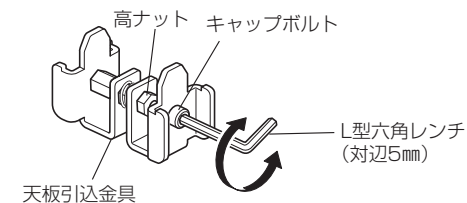
〈ご注意〉

ビーム取付金具と上ステーの上面をそろえて固定してください。

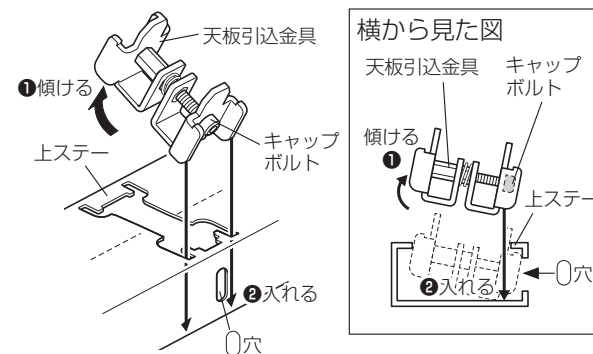


7. 「2」～「6」の要領で、残りのビーム取付金具も上ステーに固定してください。

8. 天板引込金具の高ナットの端面と、金具の面がそろっていることを確認し、そろっていない場合は、ボルトで調整してください。

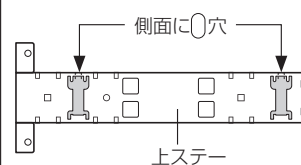


9. 天板引込金具をキャップボルトが付いている側を下に傾けて上ステーに入れてください。このとき、天板引込金具はキャップボルトが付いている側を上ステーの側面に○穴があいている面に向きを合わせてください。

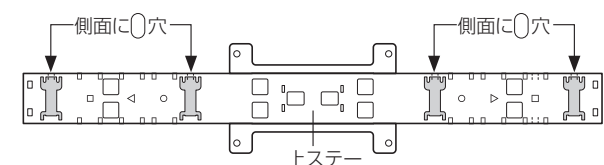


天板引込金具の取付穴位置 (○が取付穴)

〈片面タイプの場合〉

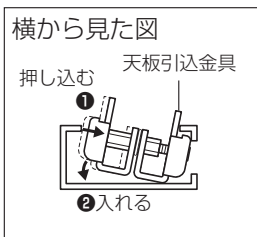
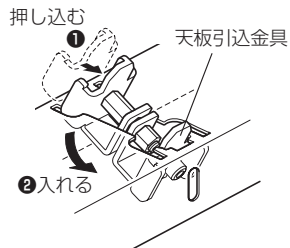


〈両面タイプの場合〉

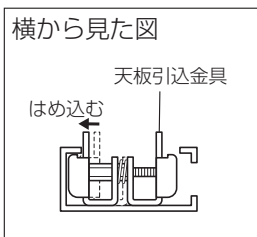
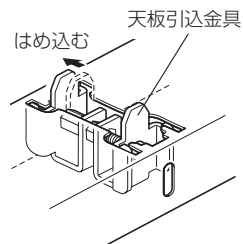


7.組み立てかた

10.天板引込金具を押し込み、天板引込金具を縮めた状態でステーに押し入れてください。



11.天板引込金具から手を離すと元の状態に戻り、天板引込金具がステーにはめ込まれます。



5 脚・中間脚とビーム(長)の組み立て (2連・3連タイプのみ)

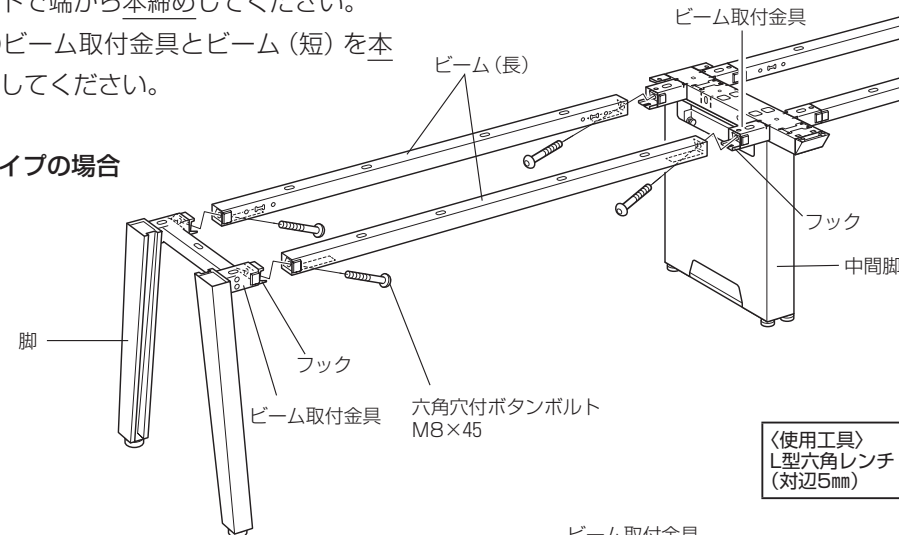
1.②で組み立てた脚と④で組み立てた中間脚のビーム取付金具のフックにビーム(長)を差し込み、ビーム(長)の下側からボルトで端から本締めしてください。

2.脚のビーム取付金具とビーム(短)を本締めしてください。

※2連タイプは、反対側も同じ要領でビーム(長)を取り付けてください。

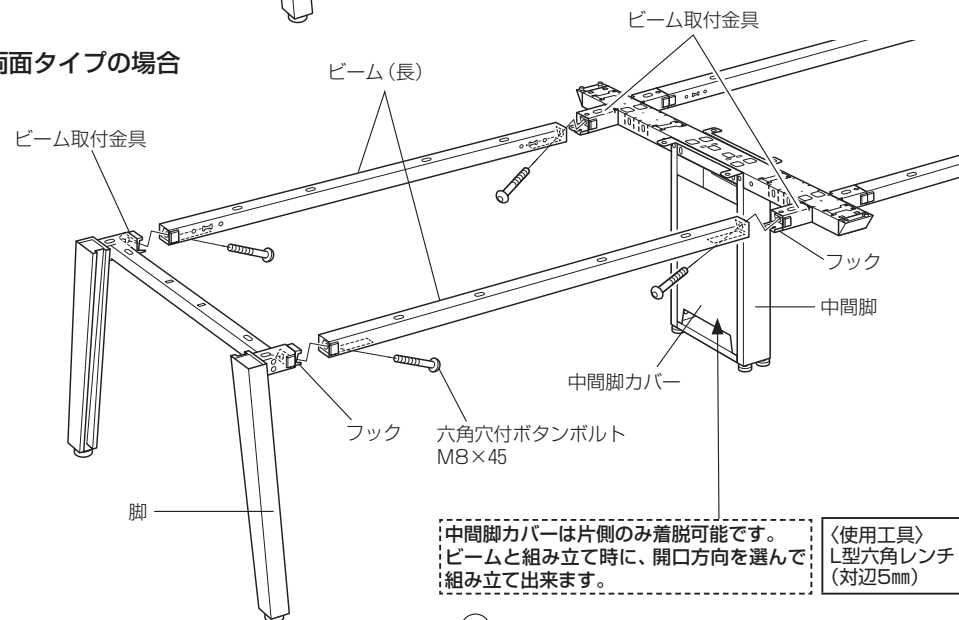
※3連タイプは、中間脚と中間脚の間、反対側の中間脚と脚の間にビーム(長)を、同じ要領で取り付けてください。

片面タイプの場合



〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺5mm)

両面タイプの場合



中間脚カバーは片側のみ着脱可能です。
ビームと組み立て時に、開口方向を選んで組み立て出来ます。

〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺5mm)

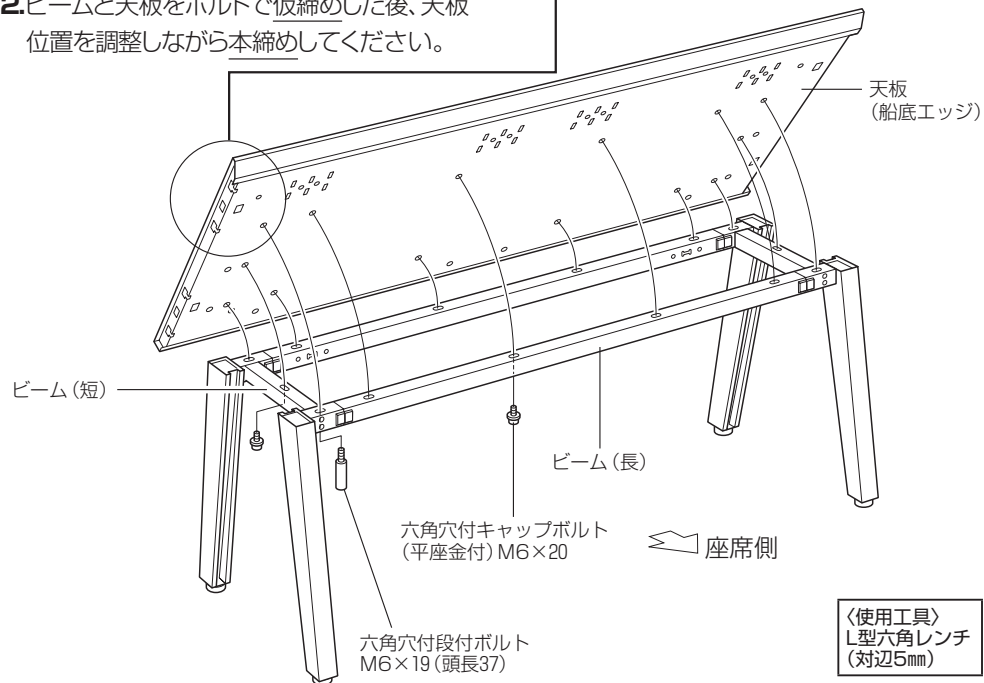
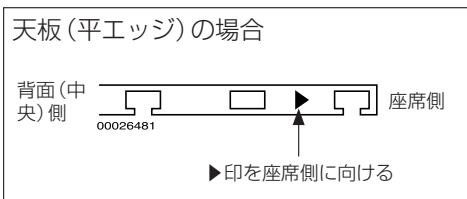
⑥天板の取り付け

1.基本タイプの場合

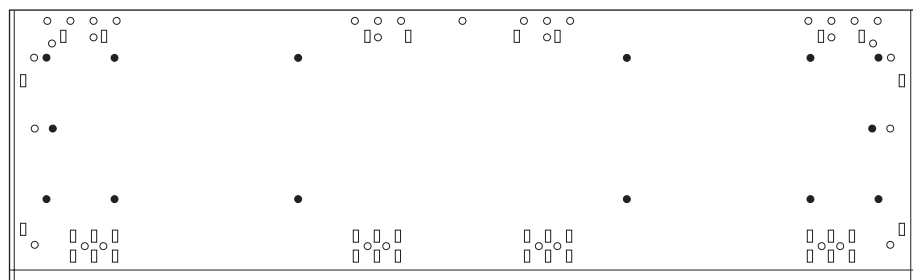
1.天板をビームの上ののせ、穴位置を合わせてください。

片面タイプの場合

2.ビームと天板をボルトで仮締めした後、天板位置を調整しながら本締めしてください。



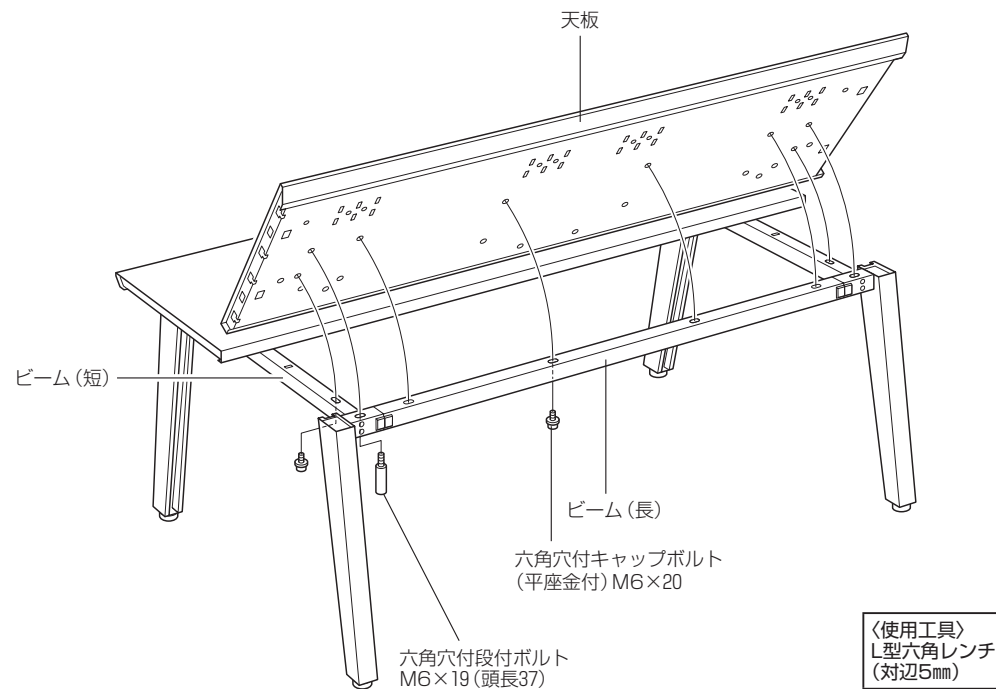
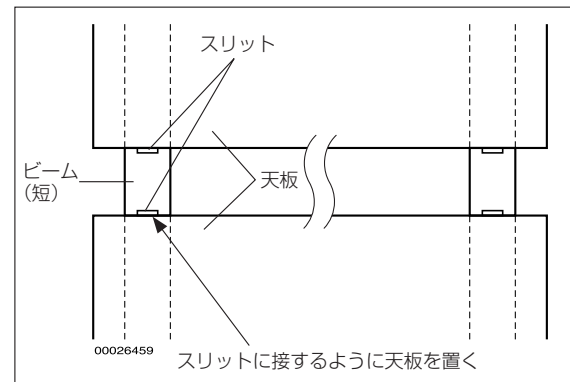
天板裏面図(●がボルトの仮締め位置) ※図はW2400以上の天板の場合



両面タイプの場合

2.ビームと天板をボルトで仮締めした後、天板位置を調整しながら本締めしてください。

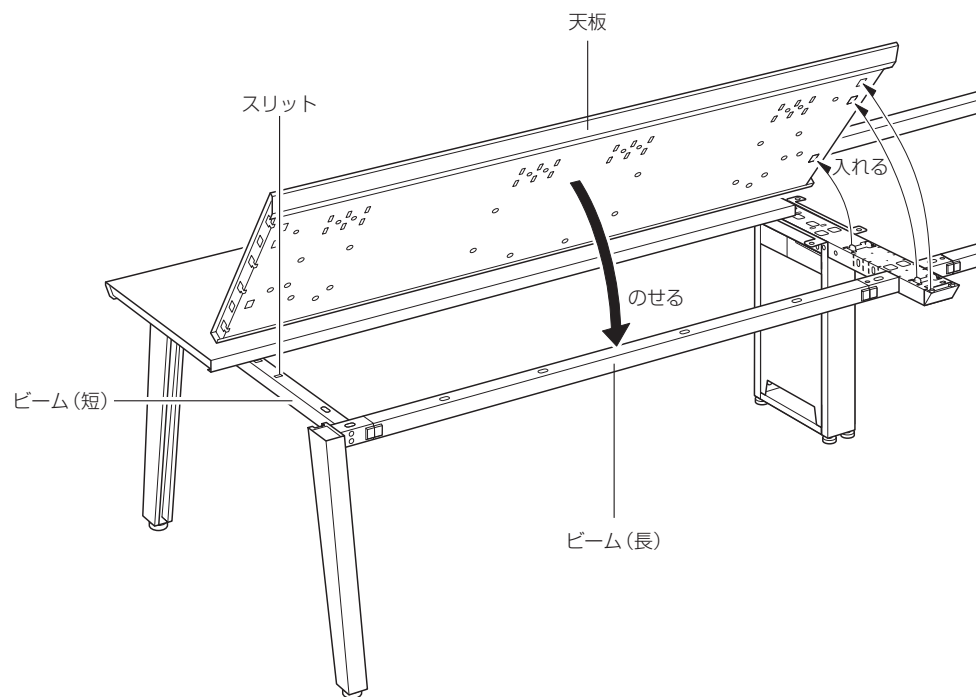
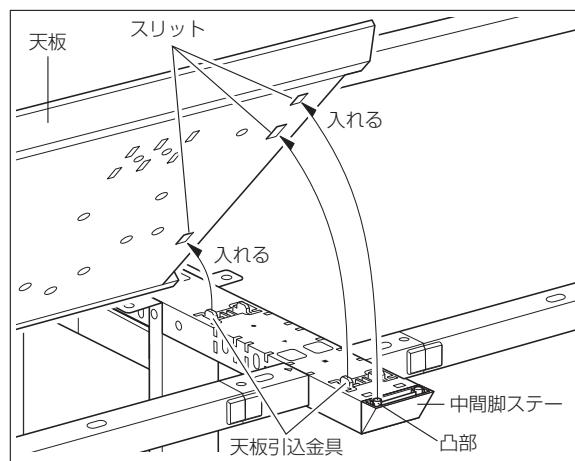
※天板は、ビーム(短)のスリットを目印に、奥行き方向を合わせて置いてください。



7.組み立てかた

2.2連・3連タイプの場合

- 1.天板のスリットに中間脚ステーの天板引込金具と、中間脚ステーの凸部が入るように、ビーム(短)側はスリットに接するように、天板をビームと中間脚ステーの上に置いてください。

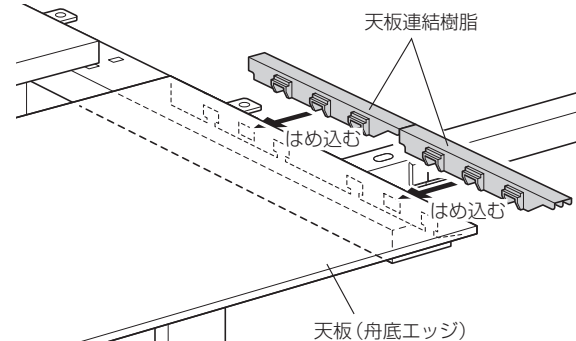


- 2.天板に天板連結樹脂を、図のようにはめ込んでください。

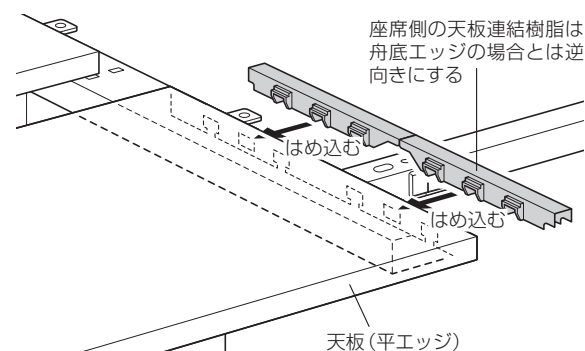
〈ご注意〉

天板には舟形とストレート形があります。天板の形状によって、天板連結樹脂の取付方向が異なりますので、図のように置いてください。

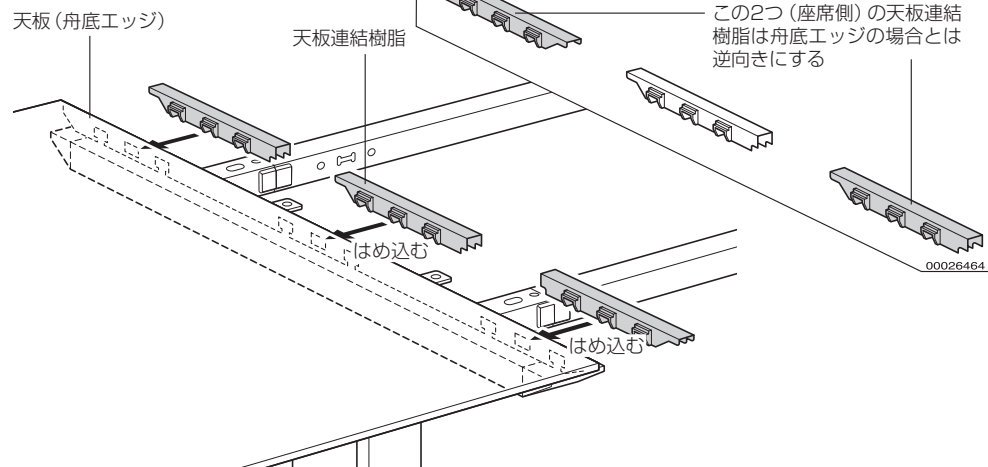
ワークテーブル舟底エッジの場合



ワークテーブル平エッジの場合



コミュニケーションテーブル 舟底エッジの場合



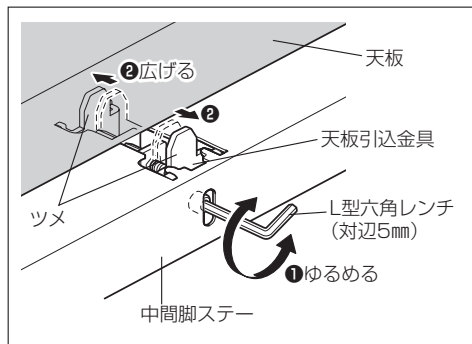
7.組み立てかた

3.天板を天板連結樹脂にはめ込むようにして、ビームと中間脚ステーの上に置いてください。

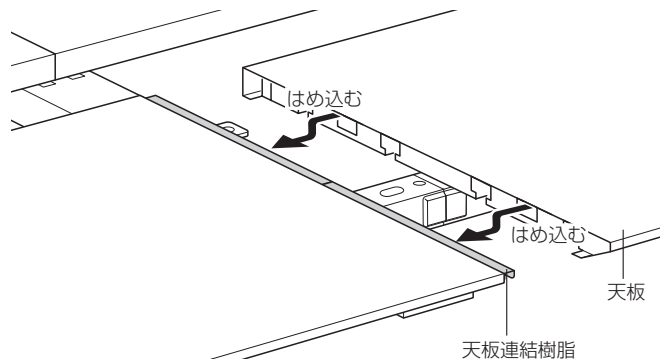
このとき、天板のスリットに中間脚ステーの天板引込金具を入れてください。

〈天板がはめ込めない場合〉

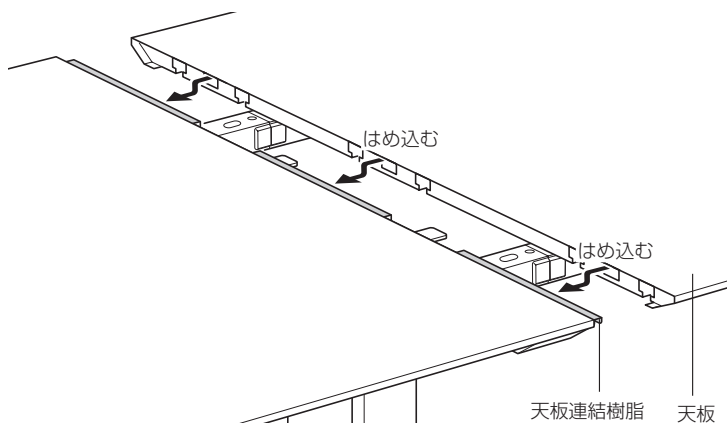
天板引込金具のボルトをゆるめて、天板引込金具のツメを両サイドに広げてください。



ワークテーブル 2連・3連の場合

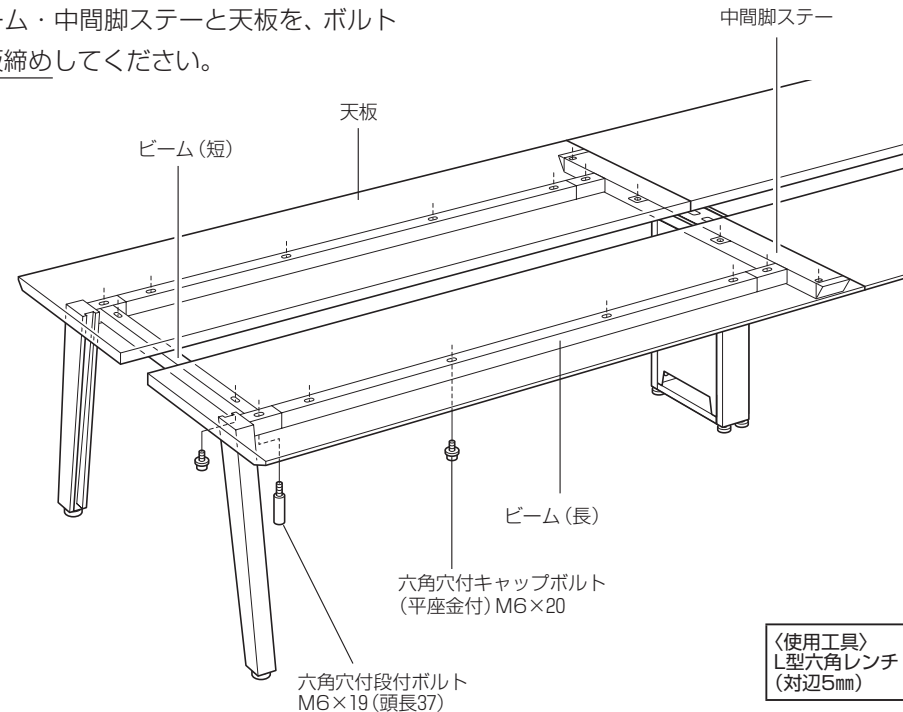


コミュニケーション テーブルの場合



37

4.ビーム・中間脚ステーと天板を、ボルトで仮締めしてください。

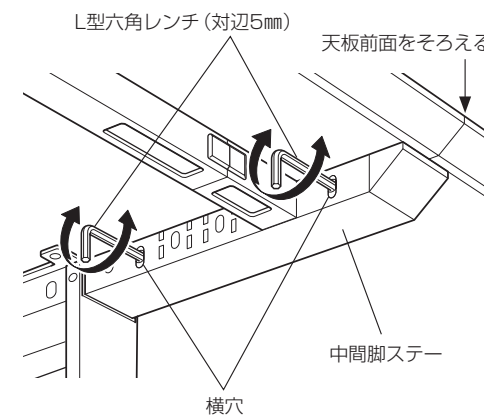


〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺5mm)

5.天板前面がそろるように調整しながら、中間脚ステーの横穴から天板引き込みボルトをねじ込んで、天板の高さを合わせて本締めしてください。

※両面タイプの場合は4カ所、片面タイプの場合は2カ所本締めしてください。

6.仮締めしたすべてのボルトを本締めしてください。

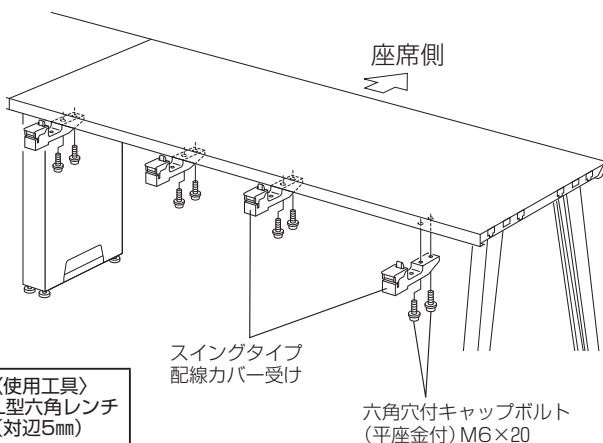


38

7 片面用コード受け・片面用配線カバーの取り付け
(ワークテーブル片面タイプのみ)

1.スイングオープンタイプの場合

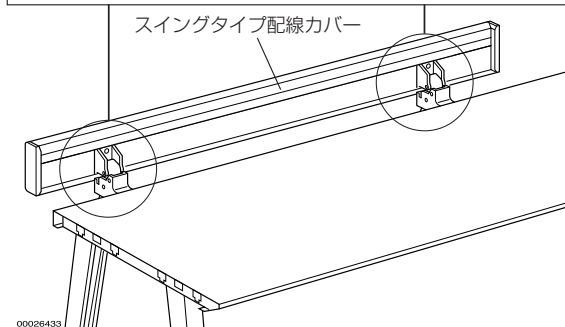
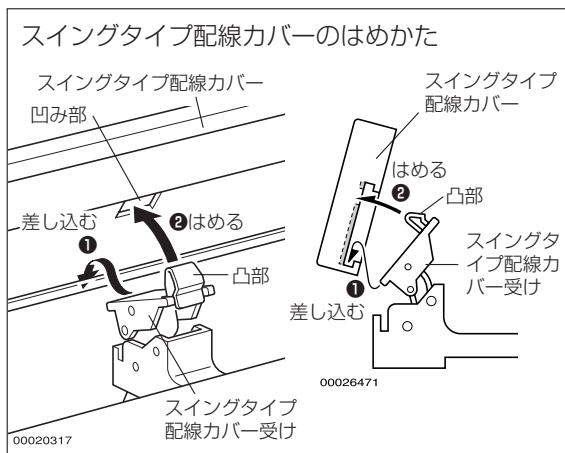
1.天板にスイングタイプ配線カバー受けを、ボルトで仮締めしてください。



2.スイングタイプ配線カバーの凹み部にスイングタイプ配線カバー受けの凸部をはまるように取り付けてください。

※凸部のツメがしっかり引っ掛かっていることを確認してください。

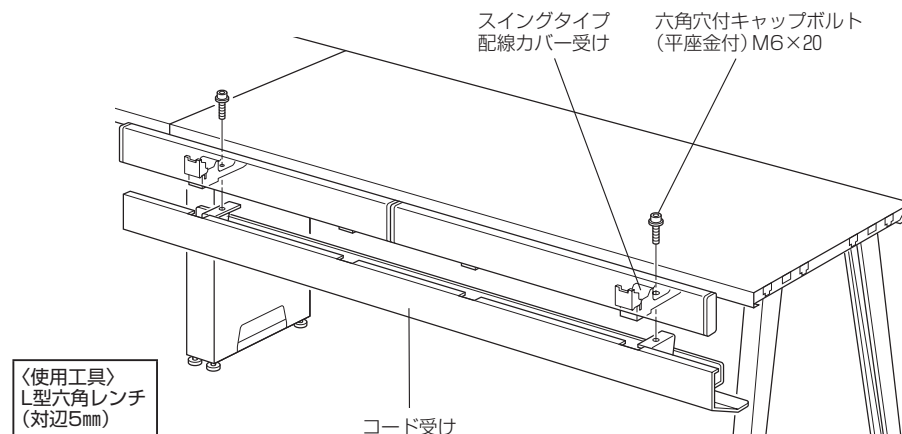
3.スイング配線カバー受けの仮締めボルトを本締めしてください。



4.コード受けをスイングタイプ配線カバー受けに、ボルトで本締めしてください。

※コード受けが取り付けにくいときは、スイングタイプ配線カバー受けの座席側の取付ボルトをゆるめてスイングタイプ配線カバー受けの位置を調整し、コード受けを取り付けてください。

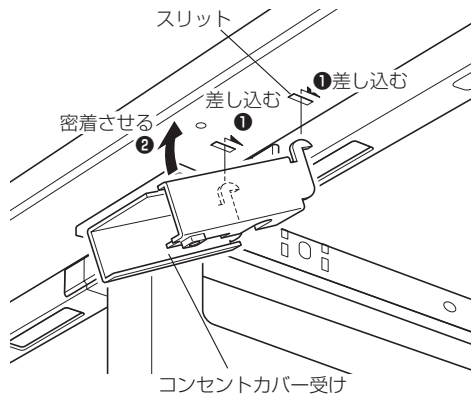
取り付け後、スイングタイプ配線カバー受けの取付ボルトを本締めしてください。



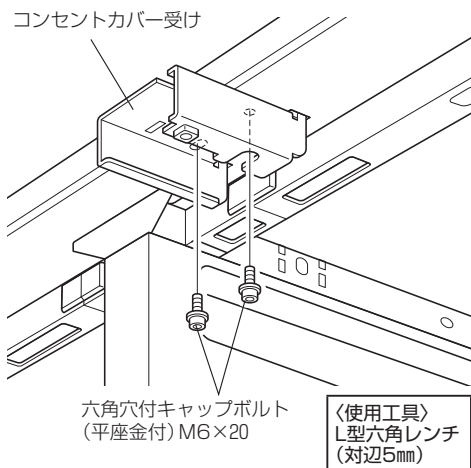
7.組み立てかた

2.コンセント付きタイプの場合

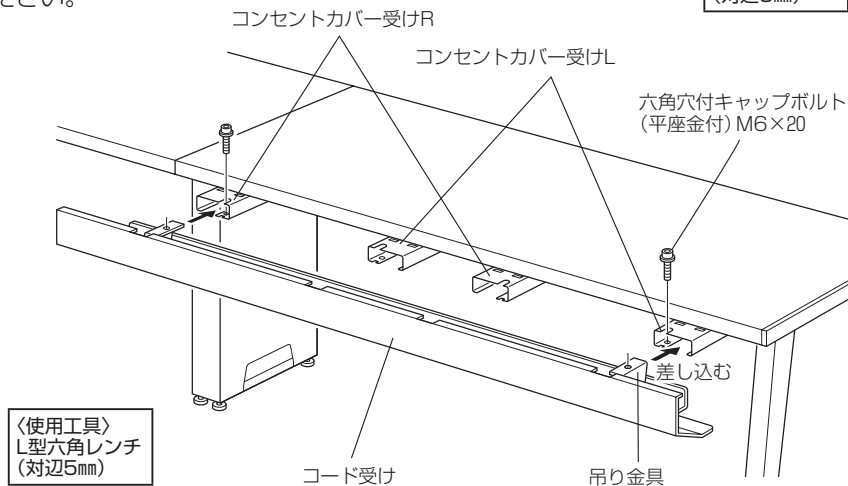
1.天板裏面のスリットにコンセントカバー受けのフックを斜めに差し込み、図のように天板裏面に密着させてください。



2.コンセントカバー受けを天板裏面に、ボルトで本締めしてください。

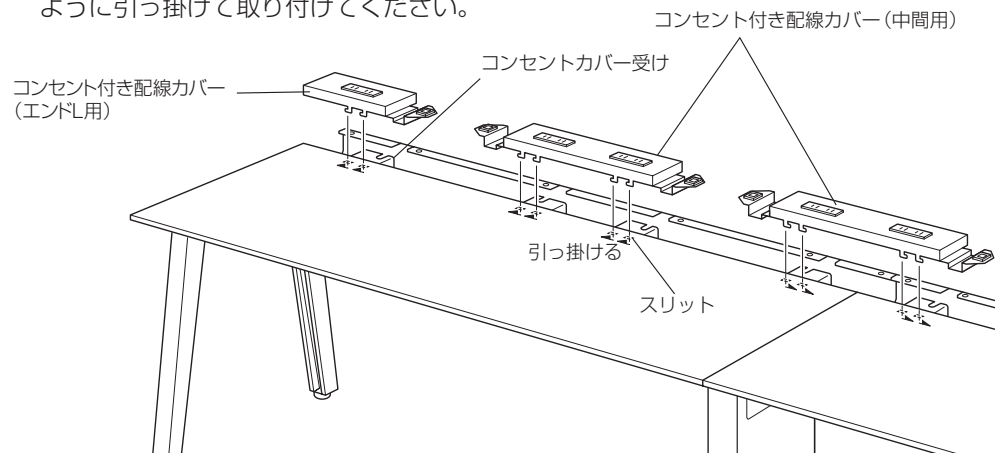


3.コンセントカバー受けにコード受けの吊り金具を図のように差し込み、吊り金具をコンセントカバー受けにボルトで本締めしてください。



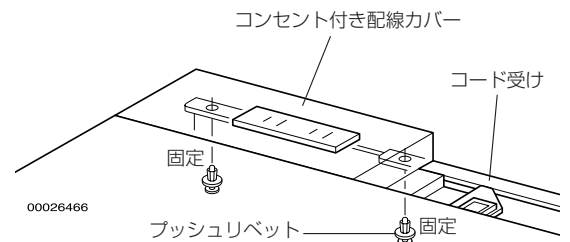
④1

4.コンセントカバー受けのスリットにコンセント付き配線カバーのフックを、図のように引っ掛けて取り付けてください。

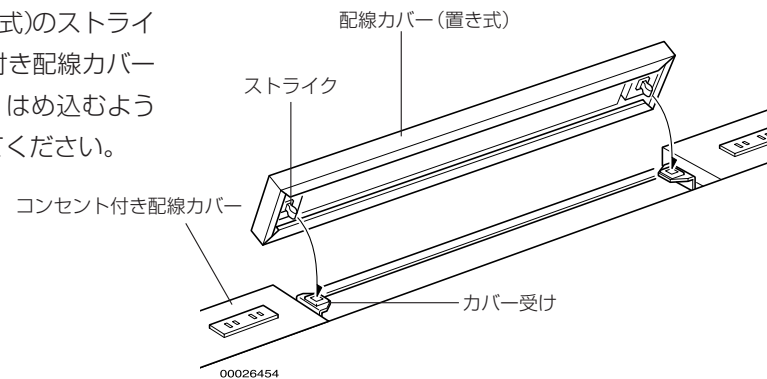


5.コード受けとコンセント付き配線カバーを、図のようにプッシュリベットで2カ所ずつ固定してください。

※プッシュリベットを外す際は、プッシュリベットの先端を下に押し込んでください。



6.配線カバー(置き式)のストライクをコンセント付き配線カバーのカバー受けにはめ込むようにして取り付けてください。



④2

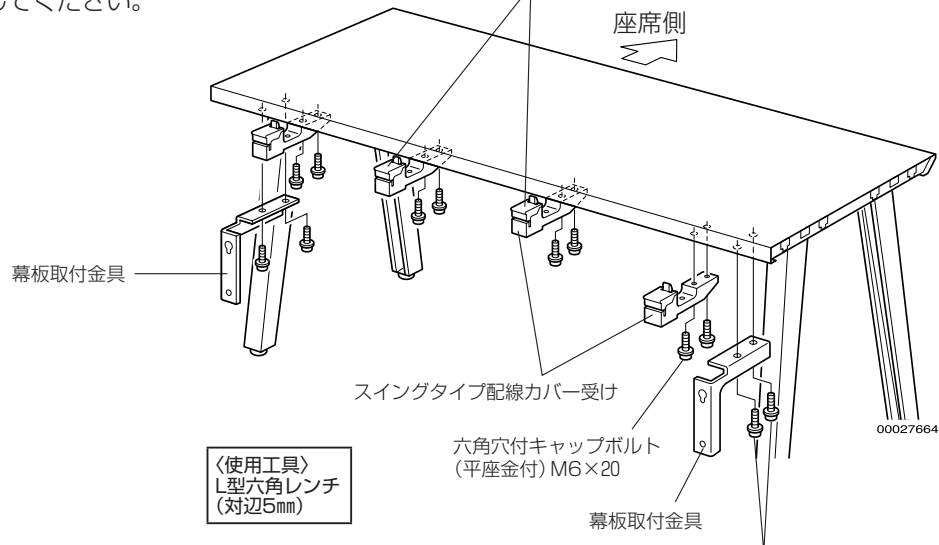
⑧コード受け付き幕板・片面用配線カバーの取り付け
(マネージメントテーブルのみ)

1.天板にスイングタイプ配線カバー受けを、ボルトで仮締めしてください。

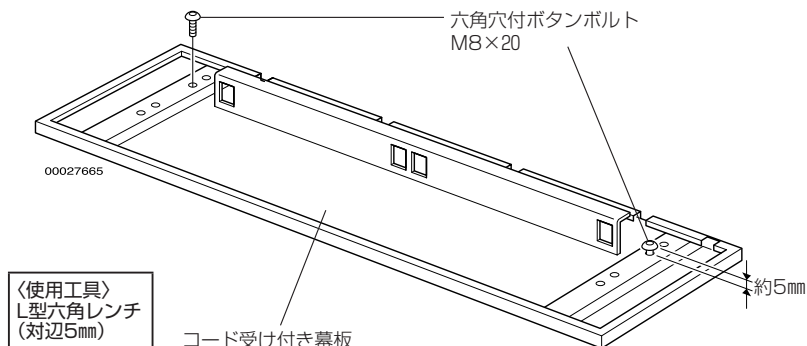
※W1400・W1600の場合は、中央の2個がありません。

2.天板に幕板取付金具を、ボルトで仮締めしてください。

※W1400・W1600にはありません。

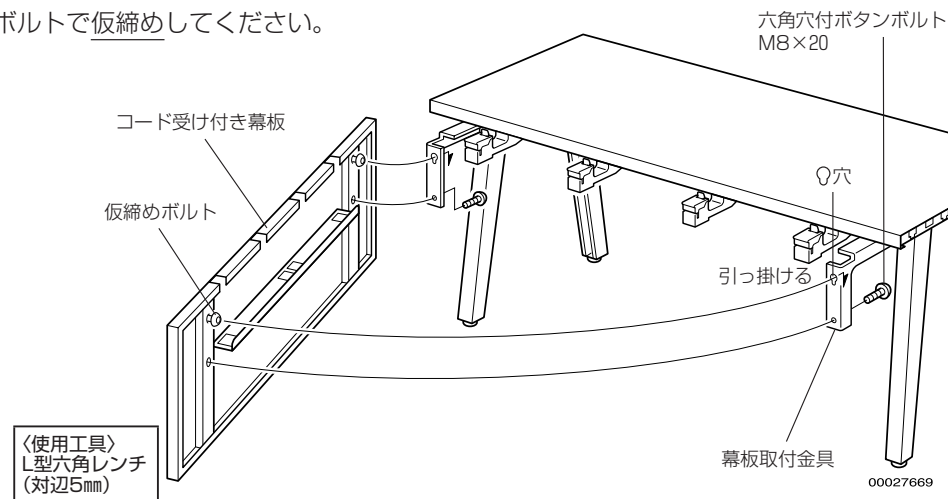


3.コード受け付き幕板にボルトを、約5mmのすき間ができるように仮締めしてください。



4.コード受け付き幕板の仮締めボルトを、幕板取付金具の○穴に引っ掛けて穴位置を合わせてください。

5.コード受け付き幕板と幕板取付金具を、ボルトで仮締めしてください。



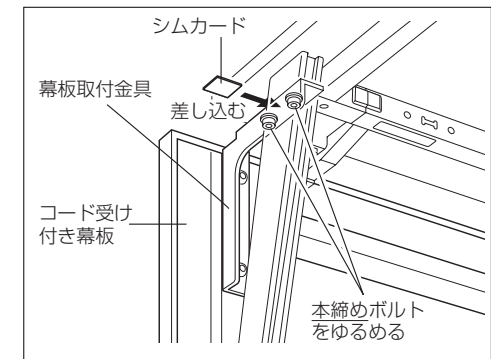
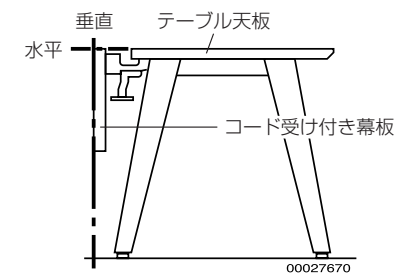
6.コード受け付き幕板の水平・垂直を調整しながら、仮締めしたすべてのボルトを本締めしてください。

〈コード受け付き幕板の水平・垂直が出ないときの処置のしかた〉

天板と幕板取付金具の本締めボルトをゆるめて、天板と幕板取付金具の間にシムカードを差し込んで調整してください。

7.③ページ「⑦片面用コード受け・片面用配線カバーの取り付け」〈1.スイングオープンタイプの場合〉の「2」の要領で、スイングタイプ配線カバーを取り付けてください。

8.スイング配線カバー受けの仮締めボルトを本締めしてください。



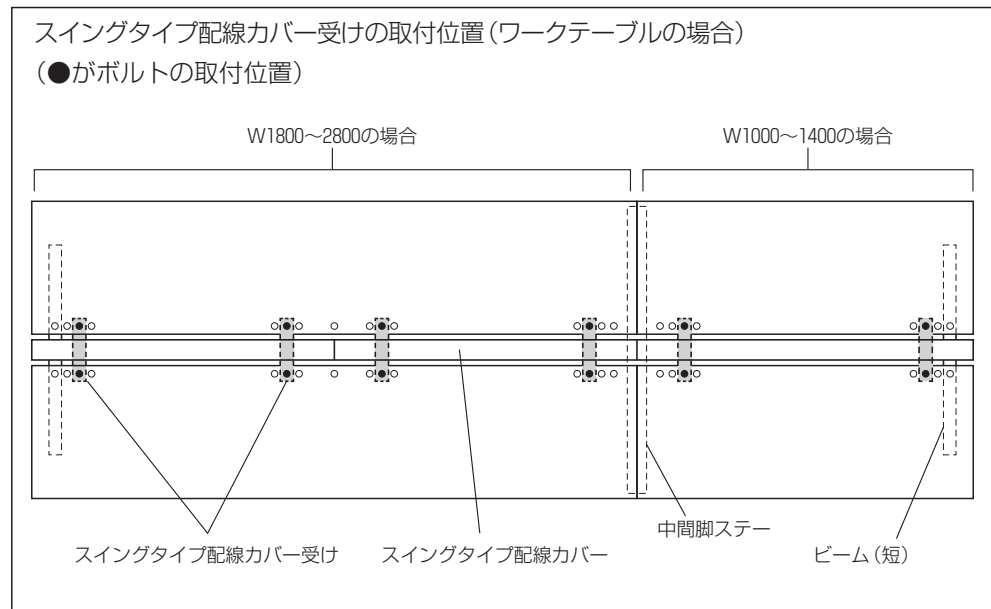
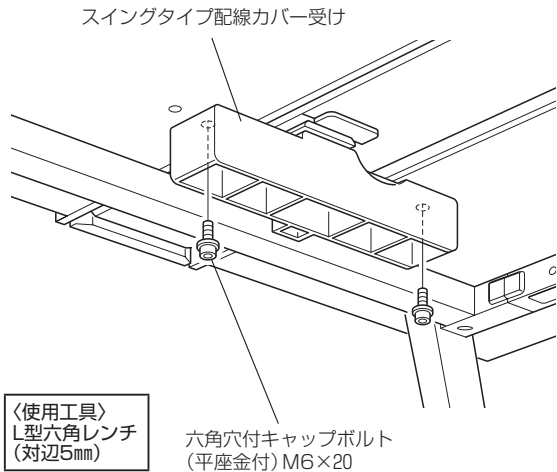
9 両面用配線カバーの取り付け

(ワークテーブル両面タイプ・コミュニケーションテーブル配線付きタイプのみ)

1.スイングオープンタイプの場合

スイングタイプ配線カバー受けを天板裏面に、ボルトで仮締めしてください。

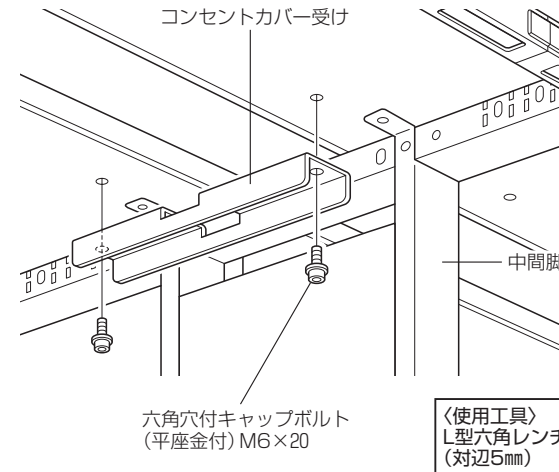
※本締めは、50ページの「10天板キャップの取り付け」で行いません。



2.コンセント付きタイプの場合

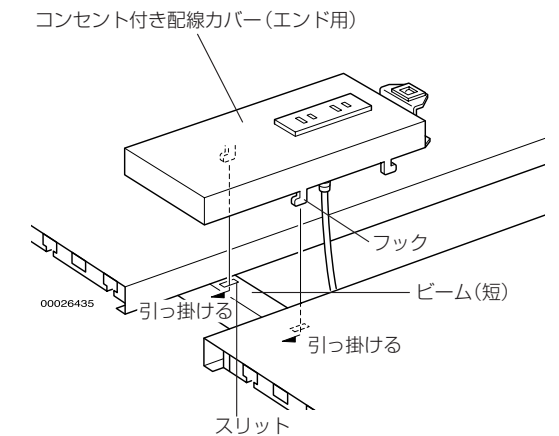
1.2連・3連のみ

コンセントカバー受けを中間脚の横に1つ、48ページの図を参考にしてボルトで仮締めしてください。



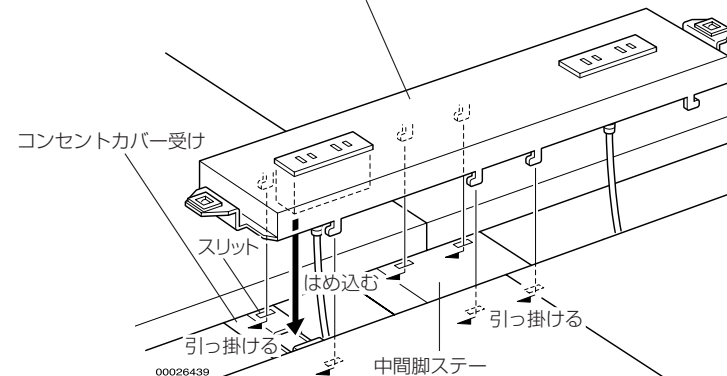
2.ビームまたはコンセントカバー受けと中間脚ステーのスリットに、コンセント付き配線カバー

受けと中間脚ステーのスリットに、コンセント付き配線カバーのフックを引っ掛けて取り付けてください。



2連・3連のみ

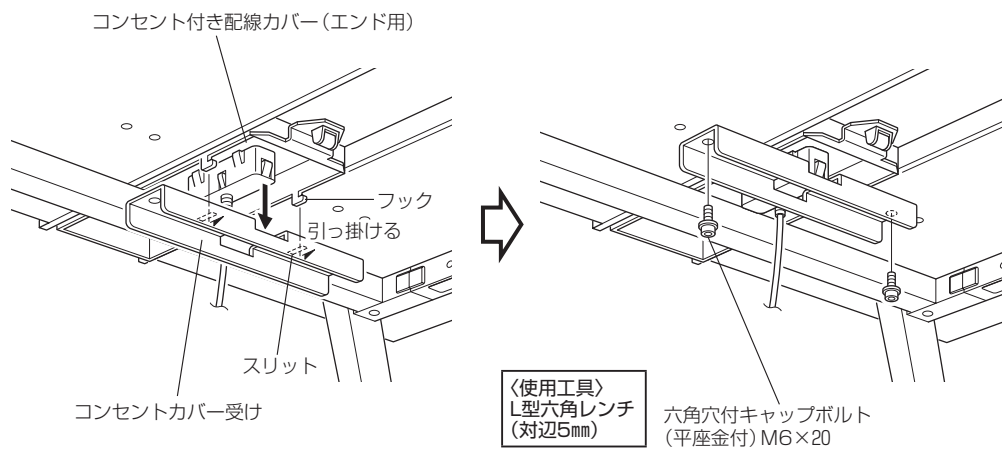
コンセント付き配線カバー (中間脚上用)



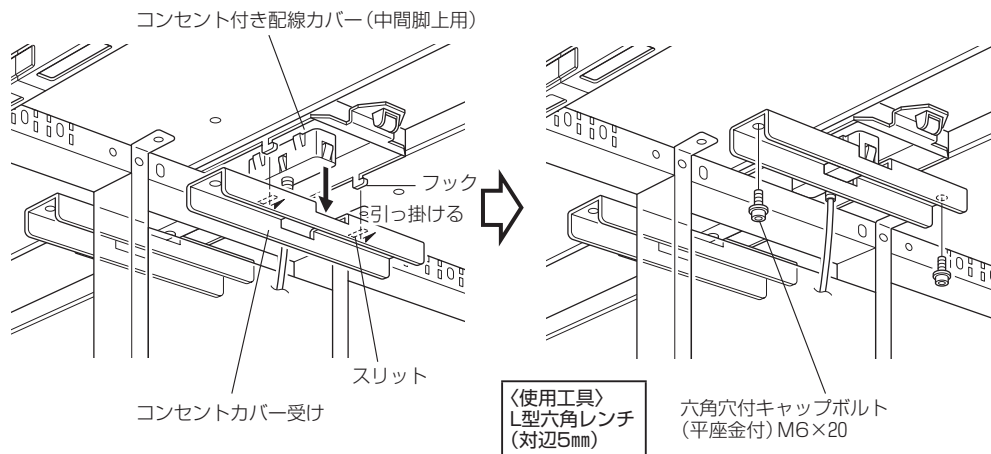
7.組み立てかた

3.天板の下側から、コンセント付き配線カバーのフックにコンセントカバー受けのスリットを図のように引っ掛け、ボルトで仮締めしてください。

※右ページの図を参考にして取り付けてください。



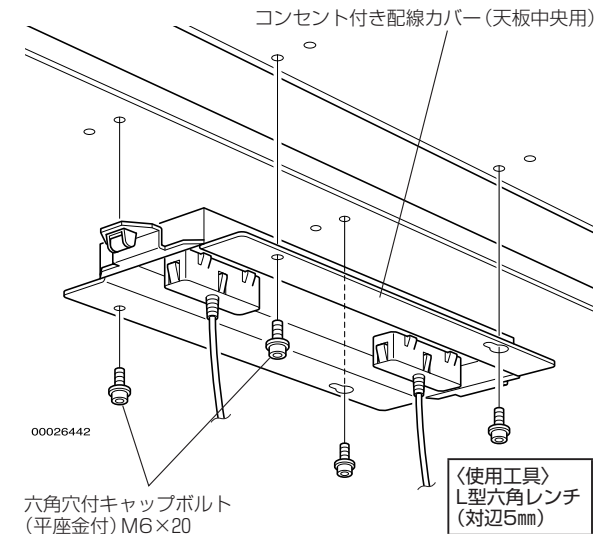
2連・3連のみ



4.W2000以上のみ

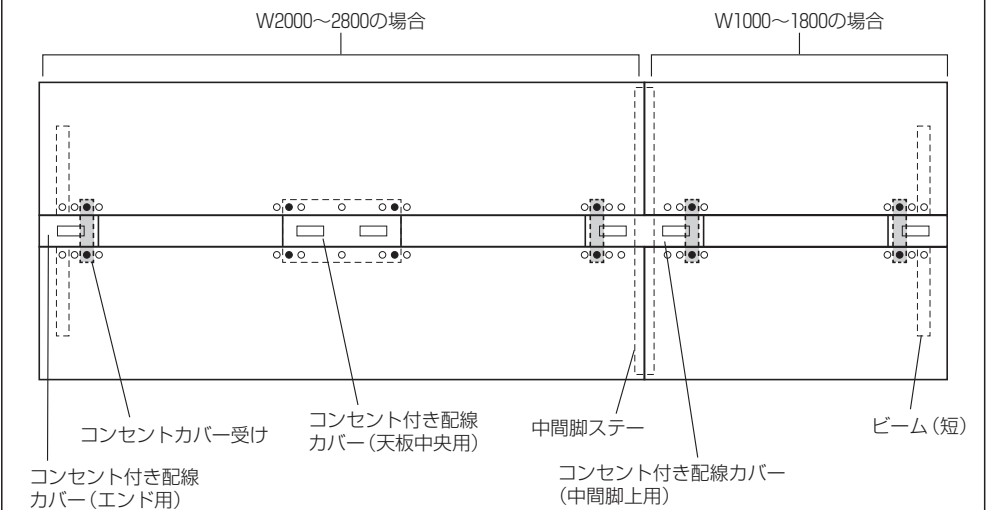
コンセント付き配線カバー(天板中央用)を天板裏面に、ボルトで仮締めしてください。

5.天板とコンセント付き配線カバーのすき間が均等になるように調整しながら、仮締めしたすべてのボルトを本締めしてください。

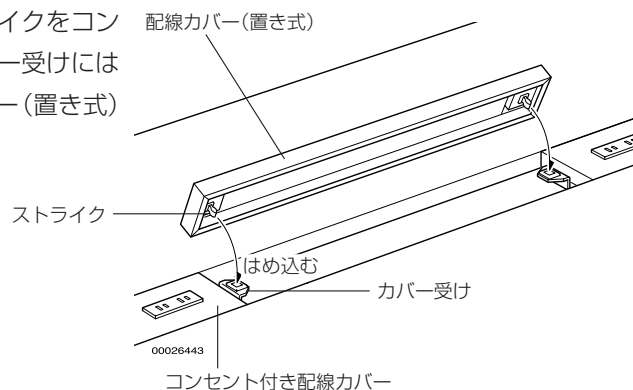


コンセント付き配線カバーの取付位置(ワークテーブルの場合)

(●がボルトの取付位置)



6.配線カバー(置き式)のストライクをコンセント付き配線カバーのカバー受けにはめ込むようにして、配線カバー(置き式)を取り付けてください。



10 天板キャップの取り付け

1.ワークテーブル・マネージメントテーブルの場合

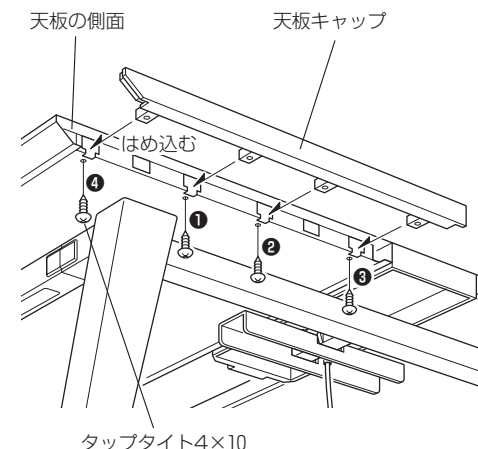
〈片面タイプ・両面タイプの両面用コンセント付きタイプ・マネージメントテーブルの場合〉

- 1.天板の側面に天板キャップをはめ込み、天板の下側からネジで仮締めしてください。
- 2.天板と天板キャップのそろい調整しながら、仮締めしたすべてのネジを右図の①～④の順番で本締めしてください。

〈ご注意〉

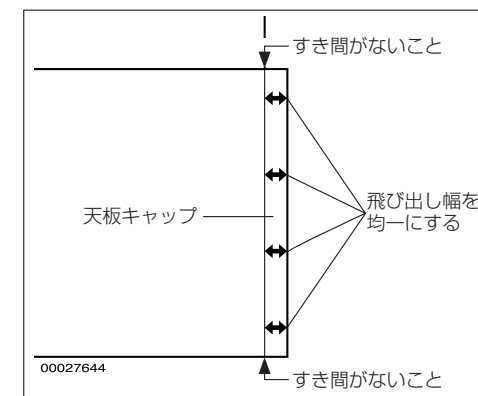
- 本締めは、天板キャップの前後の位置を合わせて、天板と天板キャップにすき間ができないように、天板キャップを天板側に押し当てる力を調整しながら、天板キャップの飛び出し幅が均一になるように本締めしてください。
- 天板キャップの座席側のネジは、締めすぎないように注意してください。締めすぎると天板キャップの先端にひねりができ、天板と天板キャップの間にすき間が生じるおそれがあります。

片面タイプは、以上で組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。



〈ご注意〉
インパクトドライバーは使用しないでください。

〈使用工具〉
⊕ドライバー (NO.2)



7.組み立てかた

〈両面タイプの両面用スイングオープンタイプの場合〉

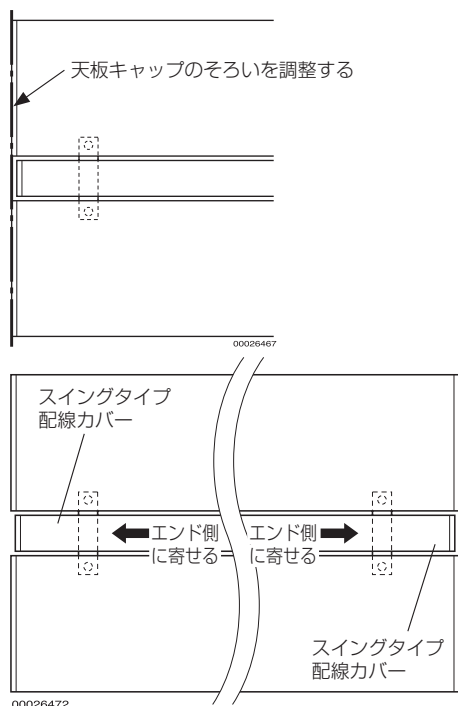
- 1.天板の側面に天板キャップをはめ込み、天板の下側からネジで仮締めしてください。
- 2.天板と天板キャップのそろい調整しながら、「1」で仮締めしたネジを本締めしてください。
- 3.向かい合う天板の天板キャップのそろいを調整しながら、ビームと天板の仮締めボルトを本締めしてください。
- 4.エンド側のスイングタイプ配線カバーを、エンド側に寄せながら仮締めボルトを本締めしてください。

5.2連・3連のみ

スイングタイプ配線カバーどうしのすき間が均一になるように調整しながら、仮締めしたすべてのボルトを本締めしてください。

〈ご注意〉

本締めは、天板キャップの前後の位置を合わせて、天板と天板キャップにすき間ができないように、天板キャップの先端が開かないように、天板側へ押さえながら真ん中のネジから行ってください。

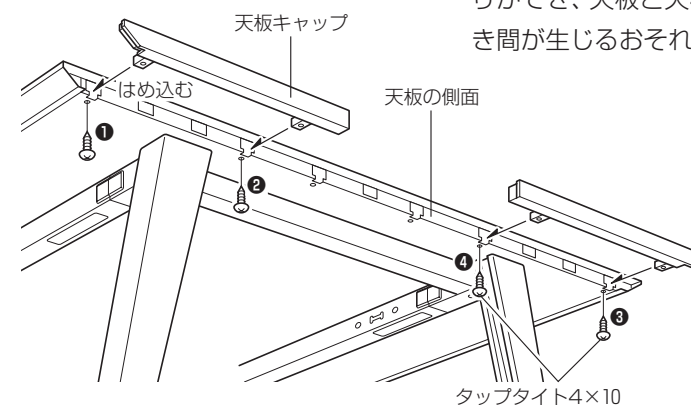


2.コミュニケーションテーブルの場合

- 1.天板側面の座席側に天板キャップをはめ込み、天板の下側からネジで仮締めしてください。
- 2.天板キャップの間に天板キャップ(中央用)をはめ込み、天板の下側からネジで仮締めしてください。
- 3.天板と天板キャップのそろいを調整しながら、仮締めしたすべてのネジを図の①～⑥の順番で本締めしてください。

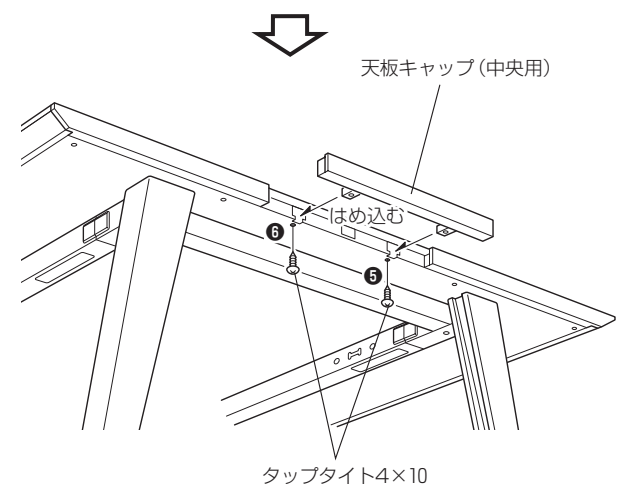
〈ご注意〉

- 本締めは、天板キャップの前後の位置を合わせて、天板と天板キャップにすき間ができないように、天板キャップを天板側に押し当てる力を調整しながら、天板キャップの飛び出し幅が均一になるように本締めしてください。
- 天板キャップの座席側のネジは、締めすぎないように注意してください。締めすぎると天板キャップの先端にひねりができ、天板と天板キャップの間にすき間が生じるおそれがあります。



〈ご注意〉
インパクトドライバーは
使用しないでください。

〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.2)



〈ご注意〉
インパクトドライバーは
使用しないでください。

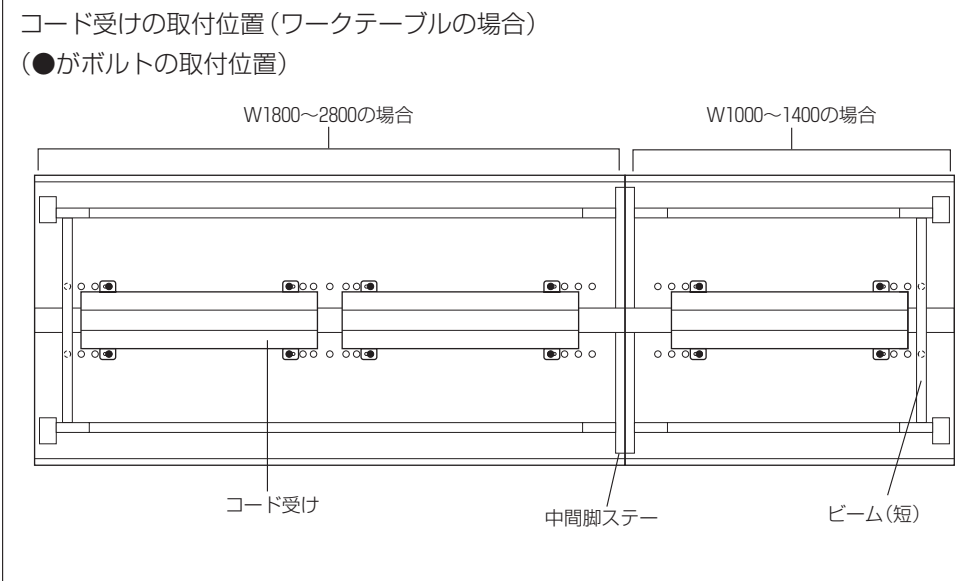
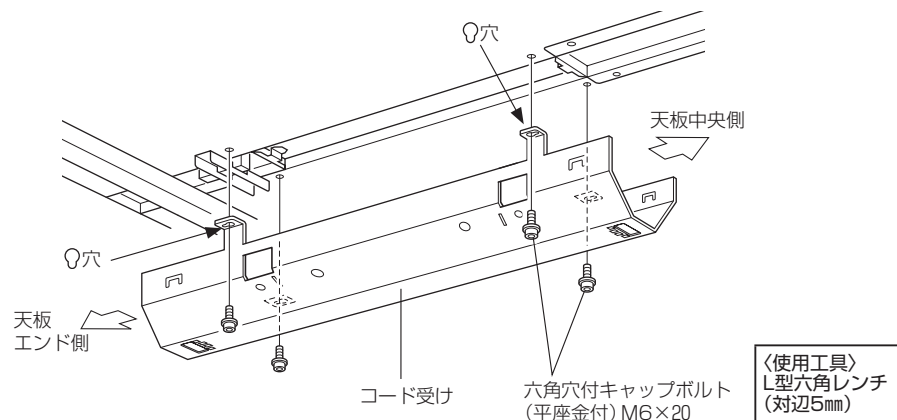
〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.2)

11 両面用コード受けの取り付け

(ワークテーブル両面タイプ・コミュニケーションテーブルのみ)

ワークテーブル両面タイプの場合

1. スイングタイプ配線カバー受けまたはコンセントカバー受けの内側にある穴に、コード受けをボルトで仮締めしてください。
2. 仮締めしたすべてのボルトを本締めしてください。



コミュニケーションテーブルの場合

ワークテーブル両面タイプと同じ要領で、天板中央にコード受けを取り付けてください。

12 保護フィルムをはがす

(保護フィルムがある場合のみ)

脚(4本)に保護フィルムがある場合は、すべてはがしてください。

以上で、組み立ては完了です。ガタツキがあるときは、アジャスターで調節してください。